

Netcommunity SYSTEM **αGX**

TYPE-S/TYPE-M

音声メールユニット 取扱説明書

このたびは、ネットコミュニティシステム αGX typeS/typeM音声メールユニットをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。






安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

注意

<ネットコミュニティシステム αGX typeSに接続の場合>

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

<ネットコミュニティシステム αGX typeMに接続の場合>

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

ご利用にあたってのお願い

- 本商品は、ネットコミュニティシステム αGX typeS/typeMに接続してお使いください。
- 本商品は、ネットコミュニティシステム αGX標準電話機18回線ボタンタイプを例として記載しており、本文中では、特に断りがない限り「内線電話機」という表現を用いております。
- ネットコミュニティシステム αGX typeS/typeMのオプション装置として用意しているアナログコードレス電話機からは、ご利用できません。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、録音などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内に登録または保持されたデータの流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に登録または保持されたデータを取扱説明書の消去方法にしたがって消去する必要があります。（●P8）
- 本商品の設置工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事、修理は違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 電話機操作について操作早見表をご使用の際は、必ず本書をよく読み理解したうえでお使いください。
- 本書とともに、必ずご使用になっているネットコミュニティシステム αGX取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。
- 商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。

警告

- リチウムコイン電池を火の中に入れてたり、ショートさせたりしないでください。また、リチウムコイン電池を分解・改造しないでください。液もれ、発熱、発火、破裂の原因となることがあります。
- リチウムコイン電池内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
- リチウムコイン電池を誤って飲み込むと、窒息や中毒を起こす危険があります。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
- リチウムコイン電池内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがあります。直ちにきれいな水で洗い流してください。

設置について

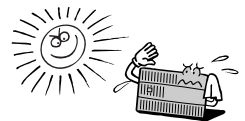
警告

- 主装置（本商品を含む）、電話機、モジュージャックや電話配線のそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。主装置、電話機、モジュージャックや電話配線に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



- 主装置（本商品を含む）、電話機やモジュージャックは次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

- 直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
- 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
- 湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所。
- ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
- 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。



- 主装置（本商品を含む）の通風孔をふさがらないでください。通風孔をふさぐと、主装置の内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。次のような設置のしかたはしないでください。

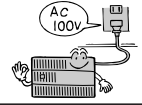
- 主装置を仰向けや横倒し、逆さまにする。
- 主装置を収納棚や本箱、配線ボックスなどの風通しの悪い狭い場所に押し込む。
- 主装置をじゅうたんや布団の上に置く。
- 主装置にテーブルクロスなどをかける。
- 主装置の周りに物をおいて、通風孔をふさぐ。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

お取り扱いについて

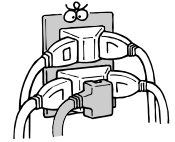
警告

- 電源は、AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- 電源プラグは電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。

- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。また、主装置（本商品を含む）の誤動作の原因となることもあります。



- お客様による主装置（本商品を含む）の設置工事、配線作業、修理、移動などは危険ですから絶対におやめください。主装置（本商品を含む）の設置工事、配線作業、修理、移動などを行うときは、当社のサービス取扱所にご依頼ください。

- 万一、主装置（本商品を含む）内部のヒューズ切れなどにより使用不可となった場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。お客様によるヒューズの交換は絶対に行わないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 万一、煙が出ている、変なおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに主装置（本商品を含む）の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

- 万一、主装置（本商品を含む）を倒したり、主装置キャビネットを破損した場合は、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

- 主装置（本商品を含む）や電話機から異常音がしたり、主装置キャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。

- 主装置（本商品を含む）、電話機、モジュージャックや電話配線に水をかけたり、ぬれた手で操作や電源プラグの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- 主装置（本商品を含む）の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

警告

- 万一、主装置（本商品を含む）内部、電話機、モジュージャックや電話配線に水などの液体が入った場合は、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

- 主装置（本商品を含む）や電話機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された主装置（本商品を含む）や電話機は修理に応じられない場合があります）。



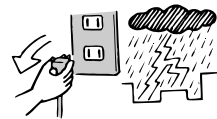
- 主装置（本商品を含む）のキャビネットは外さないでください。感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください。



- 主装置（本商品を含む）の電源コードおよび電話機までの配線などを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりするとコードおよび配線が破損し、火災・感電の原因となることがあります。コードおよび配線が傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

- 主装置（本商品を含む）の電源コードおよび電話機までの配線などが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

- 近くに雷が発生したときは、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜き、主装置（本商品を含む）の電源スイッチを切って、ご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。



- 主装置（本商品を含む）や電話機、電源コード類を熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コード類の被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

- 電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。



- コードレス電話機は、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域では、電源を切るか持ち込まないでください。電子機器や医療機器に影響を与え事故の原因となることがあります。

- 電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

- お客様が用意された機器を主装置（本商品を含む）および電話機に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所にご確認ください。確認できない場合は絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

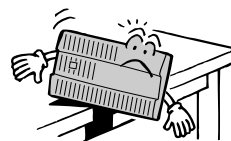
安全にお使いいただくために必ずお読みください

設置について

⚠ 注意

●主装置（本商品を含む）や電話機は次のような場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
- 振動、衝撃の多い場所。



●主装置（本商品を含む）や電話機を床面設置する場合や壁掛け設置する場合は、専用の取り付け用品によりしっかりと固定設置してください。固定が不十分な場合、落下、転倒の原因となることがあります。

●屋外に渡る配線は行わないでください。特に、建物から建物へ空中を通す配線は雷などによる故障の原因となることがあります。

お取り扱いについて

⚠ 注意

●主装置（本商品を含む）や電話機の上に重い物をのせないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。

●主装置（本商品を含む）や電話機に乗らないでください。特に、小さなお子様のご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。

●主装置（本商品を含む）を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

●主装置（本商品を含む）は高度な技術によって構成された精密機器です。より安心して使用していただくためには、当社の定期点検をお受けすることをお勧めします。詳しくは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

●電話機の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

●受話音量を明瞭モードに切り替えて、音量を大きくしたまま使用すると、聴力障害の原因となることがあります。

設置について

STOP お願い

●主装置（本商品を含む）や電話機を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバータエアコン、電磁調理器など）。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、電話機などの設置場所を移動してみてください。



●電話機は平らな面に置いてお使いください。落下や故障の原因となることがあります。

●硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、主装置（本商品を含む）や電話機などの寿命が短くなることがあります。

お取り扱いについて

STOP お願い

●主装置（本商品を含む）や電話機などをぬれたぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。主装置や電話機などの変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。



●停電中に主装置の電源スイッチを切らないでください。停電復旧時に使用できなくなります。

●停電のときは、停電用電話機を使用してください。

- 他の内線電話機は使えません。
- ドアホンは使えません。
- 発信電話番号表示機能は使えません。
- 音声メール機能は使えません。

●ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示のご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

●ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示を利用して着信拒否を設定している場合は、緊急の件でも着信音は鳴りませんのでご注意ください。

●受話器は逆方向に掛けないでください。正常に動作できないことがあります。

●電話機コードを引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。

●電話機を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。



安全にお使いいただくために必ずお読みください

廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意

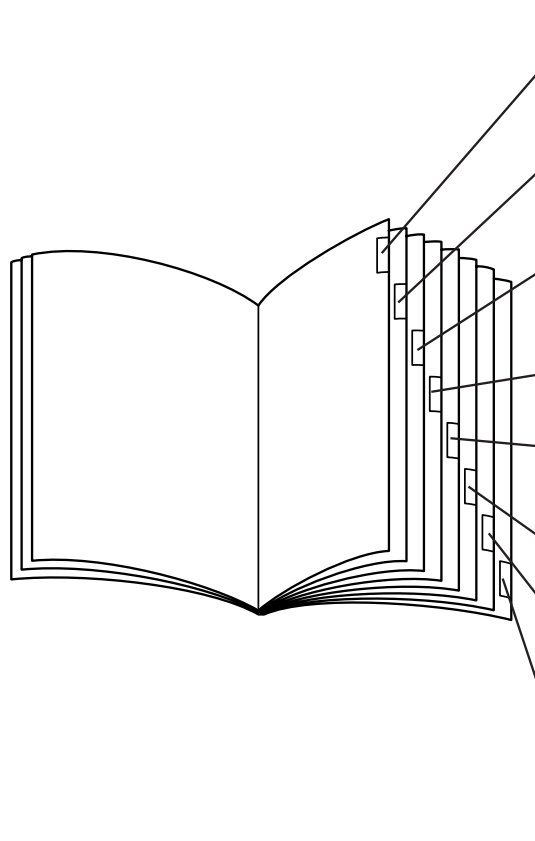
本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内に登録または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に登録または保持された情報を下表に従って消去する必要があります。

記録内容	処置（取扱説明書参照ページ）
通話録音	P90を参照し、メモリ全初期化の操作を行ってください。
通話録音のコメント	
メッセージ録音	
留守番電話の録音	
応答メッセージ録音	
着信通知先の電話番号	P34を参照し、着信通知先の電話番号を消去してください。

この取扱説明書の見かた／ セットを確認してください

この取扱説明書では、音声メールユニットを搭載した場合ご利用になれる音声メール機能について説明しています。その他の機能や登録・設定については、ネットコミュニティシステム αGX typeS/typeMの取扱説明書をご覧ください。

この取扱説明書の構成

- 
- 1 お使いになる前に**
お使いになる前に知っておいていただきたいことをまとめています。
 - 2 留守番電話として利用する**
留守番電話として利用するための操作・機能について説明しています。
 - 3 メッセージを再生／送信する**
メッセージを再生や送信する操作・機能について説明しています。
 - 4 お話を録音する**
通話を録音する操作の手順について説明しています。
 - 5 お待たせメッセージを利用する**
お待たせメッセージを利用するための操作・機能について説明しています。
 - 6 外出先から操作する**
外出先から操作する機能について説明しています。
 - 7 ユーザ設定をする**
音声メールユニットを利用するときに登録・設定できる便利な機能について説明しています。
 - 8 ご参考に**
故障かな？と思ったときの確認方法などを説明しています。

この取扱説明書の見かた／ セットを確認してください

操作説明ページの構成

章タイトル

章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル

目的ごとにタイトルが付けられています。

電話機イラスト

操作で使うボタンなどの位置を示しています。

ワンポイント

知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明を示しています。

次の3種類のマークで項目を区別しています。

● : お買い求めただいてすぐにご利用いただける機能の補足説明

☎ : 「システム設定」することによりご利用いただける機能の補足説明

○ : その他の補足説明

お願い／お知らせ

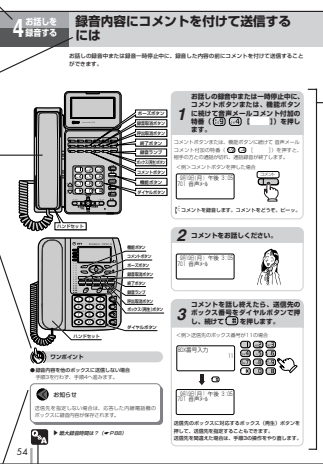
〈お願い〉

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止を招く内容を示しています。

〈お知らせ〉

この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

<サンプル>



操作手順説明

順番に操作を説明しています。見出しの枠を次のように区別しています。

■ : お買い求めただいてすぐにご利用になれる機能

☎ : 「システム設定」によりご利用になれる機能

ガイダンス

(例)

「ダイヤリングサービスを行います。…」

音声メールのガイダンスを示しています。

αGX : αGXシリーズの電話機にのみ関連する事項を示しています。

AX : AX電話機にのみ関連する事項を示しています。



「8 ご参考に」にQ&A形式で詳しく説明している事項を示しています。

セットを確認してください

■音声メールユニット (1個)

■付属品

取扱説明書 (1部)

操作早見表 (2部)

表示シール (電話機30台分)

●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所へご連絡ください。

目次

安全にお使いいただくために

必ずお読みください	2
この取扱説明書の見かた／ セットを確認してください	9

1 お使いになる前に

特長	12
音声メール操作ボタンとランプ表示	14
暗証番号を登録するには	20

2 留守番電話として利用する

留守番電話について	22
留守番電話を利用するには	24
留守番電話の対象となる回線を設定するには	26
留守番電話をセットするには	28
留守番電話をセット／解除する	28
相手の方を確かめてから電話に出るには (居留守応答)	30
留守番電話にメッセージが録音されたことを 携帯電話などにお知らせするには	32
着信通知先の電話番号を登録する	34
着信通知を設定する	35
システムモード(昼／夜／休憩／休日)に応じて 自動的にシステム留守番電話を利用するには	36

3 メッセージを再生／送信する

録音内容を再生するには	38
ボックス番号を指定して録音内容を再生するには	40
録音内容を消去するには	42
録音内容を転送するには	44
他の人にメッセージを送信するには	46

4 お話しを録音する

自動で通話を録音するには	48
手動で通話を録音するには	50
自動通話録音／手動通話録音を切り替えるには	52
録音内容にコメントを付けて送信するには	54

5 お待たせメッセージを利用する

お待たせメッセージとは	56
お待たせメッセージで応答するには	58

6 外出先から操作する

外出先からの操作について	60
外出先などから録音内容を再生するには	62
内線電話機を直接呼び出すには	64
外出先などから電話をかけて 別の外線に発信するには	66
リモート設定を行うには	68

7 ユーザ設定をする

ユーザ設定によりご利用になれる機能	70
留守番電話の応答メッセージを設定するには	72
応答メッセージを録音する	72
お待たせメッセージを設定するには	74
お待たせメッセージを録音する	74
FAX／電話切替メッセージを設定するには	76
切替メッセージを録音する	76
システム留守番電話の応答メッセージを 設定するには	78
応答メッセージを録音する	78
留守番電話の応答時間を設定するには (留守／転送開始タイム)	80
留守番電話を応答専用を設定するには	82
システム留守番電話を応答専用 設定するには	83
メッセージの再生について設定するには	84
再生順序と再生対象について	84
メッセージの再生順序を設定する	86
新しいメッセージを優先するかどうかを 設定する	87

8 ご参考に

Q&A	88
お買い求め時の設定に戻すには	90
停電になったときは	92
故障かな?と思ったら	93
お客様データ一覧	95
音声メール操作サービスボタンの 設定を変更するには	97
索引	98
仕様	100
保守サービスのご案内	101

1
前に
お使いになる

2
留守番電話と
して利用する

3
メッセージを
再生／送信する

4
お話しを録音
する

5
お待たせメッセー
ジを利用する

6
外出先から
操作する

7
ユーザ設定を
する

8
ご参考に

音声ガイドで簡単操作

操作の内容は、音声ガイドが案内します。ガイドに従って操作が簡単に行えます。



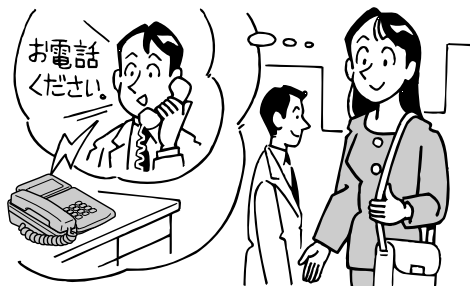
暗証番号を自由に設定

暗証番号を自由に設定できます。暗証番号を設定すると、暗証番号を知っている人だけが、録音されたメッセージの再生などの操作をできるようになります。



留守番電話を利用する（留守番電話）

不在時などにかかってきた電話に対して自動的に応答メッセージを流し、用件（メッセージ）を録音できます。ご用意している応答メッセージの他にも、お客様がご自由に応答メッセージを録音することができます。



お話しを録音する（通話録音）

お話ししている内容を録音できます。お話しを始めると同時に自動的に録音したり（自動通話録音）、録音したいときに操作して録音したりすること（手動通話録音）ができます。



他の人にメッセージを残す（メッセージ録音）

他の方のボックスへメッセージを残すことができます。

また、録音したメッセージを転送したり、一度に複数の人に送ることもできます。



外の電話機から操作する（ダイヤリングサービス）

外出先から音声メールへ電話をかけて、内線電話機を直接呼び出したり、録音されているメッセージを聞いたりすることができます。



すぐに出られないときにお待たせメッセージを流す（お待たせメッセージ）

外からの電話にすぐに出られないとき、お待たせメッセージを流して、出られるようになるまで待ってもらったり、電話をかけ直してもらうように伝えることができます。



STOP お願い

相手の方に無断で通話録音をしないでください。通話録音は、必ず相手の方の了解を得てから録音を始めてください。個人のプライバシーの侵害にあたる場合があります。特に、自動通話録音に設定されている電話機で、相手の方の了解を得られない場合は、通話中に録音取消ボタンを押して通話録音を中止してください。

お知らせ

- 外出先などから音声メールにアクセスする場合は、携帯電話またはプッシュ信号を送ることができる電話機をご利用ください。ダイヤル回線に接続されている電話機でもプッシュ信号を送る機能があれば音声メールを利用することができます。
- 音声メールを同時に利用できるのは4通話までです。
- ネットコミュニティシステム αGX typeS/typeM の機能には、お客様が登録・設定できる機能のほか、システム設置時にあらかじめ「システム設定」で登録・設定しておく機能が多数あります。「システム設定」を行いたいときは、当社のサービス取扱所にご相談ください。

音声メール操作ボタンとランプ表示

お使いになっている電話機やコンソールに音声メール操作ボタン（サービスボタンおよびボックス（再生）ボタン）を設定すると、操作が簡単になります。なお、イラストはネットコミュニケーションシステム αGX標準電話機18回線ボタンタイプとAX標準電話機を例として記載しています。詳しくは当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

< αGX標準電話機（18回線ボタンタイプ） >



音声メール操作ボタン

未使用の回線ボタン（AX電話機ではワンタッチボタン、回線ボタン）に次の10種類のボタンを設定することができます。

音声メール操作サービスボタン

- 録音……………手動通話録音を開始する
- 呼出取消……………録音を終了する（録音を保存し、着信通知しない）
- ポーズ……………録音を一時停止／一時停止を解除する
- 終了……………録音を終了する（録音を保存し、着信通知する）
- 録音取消……………録音を終了する（録音を保存せず、着信通知しない）
- コメント……………通話録音を終了し（録音を保存し、着信通知する）、コメント録音を開始する
- 録音モード……………自動通話録音／手動通話録音のモードを切り替える
- お待たせ……………お待たせサービスを起動する
- 留守……………留守番電話をセット／解除する
留守番電話対象回線の設定を行う
- ボックス（再生）ボタン**
録音内容を再生する

< AX標準電話機 >



お買い求め時には、下記の回線ボタンに「ボックス（再生）」、「録音」が設定されています。

- αGX標準電話機18回線ボタンタイプ…回線ボタン17：ボックス（再生）
回線ボタン18：録音
- αGX標準電話機24回線ボタンタイプ…回線ボタン23：ボックス（再生）
回線ボタン24：録音
- AX標準電話機……………回線ボタン6：ボックス（再生）
回線ボタン7：録音

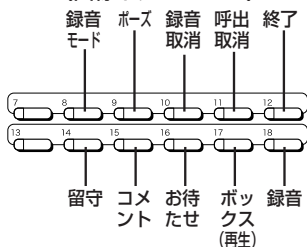


ワンポイント

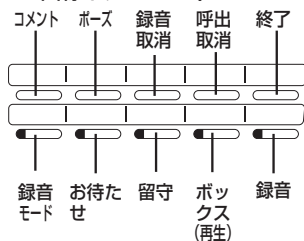
音声メール操作ボタンの設定例

この取扱説明書では、右図のように、音声メール操作ボタンが回線ボタン（AX電話機ではワンタッチボタン、回線ボタン）に設定されているものとして説明しています。

αGX標準電話機（18回線ボタンタイプ）の設定例（回線ボタン8～18）

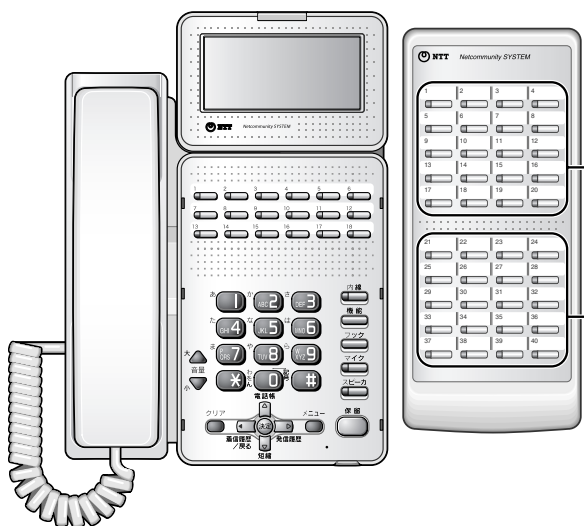


AX標準電話機の設定例（ワンタッチボタン1～5、回線ボタン3～7）



<コンソール [オプション] >

※イラストは、αGX標準電話機（18回線ボタンタイプ）とコンソールの組み合わせを例としたものです。



音声メール操作ボタン

未使用のワンタッチボタンに次の10種類のボタンを設定することができます。

音声メール操作サービスボタン

- 録音……………手動通話録音を開始する
- 呼出取消……………録音を終了する（録音を保存し、着信通知しない）
- ポーズ……………録音を一時停止／一時停止を解除する
- 終了……………録音を終了する（録音を保存し、着信通知する）
- 録音取消……………録音を終了する（録音を保存せず、着信通知しない）
- コメント……………通話録音を終了し（録音を保存し、着信通知する）、コメント録音を開始する
- 録音モード……………自動通話録音／手動通話録音のモードを切り替える
- お待たせ……………お待たせサービスを起動する
- 留守……………留守番電話をセット／解除する
留守番電話対象回線の設定を行う

ボックス（再生）ボタン

録音内容を再生する



ワンポイント

○音声メール操作サービスボタン名の表記

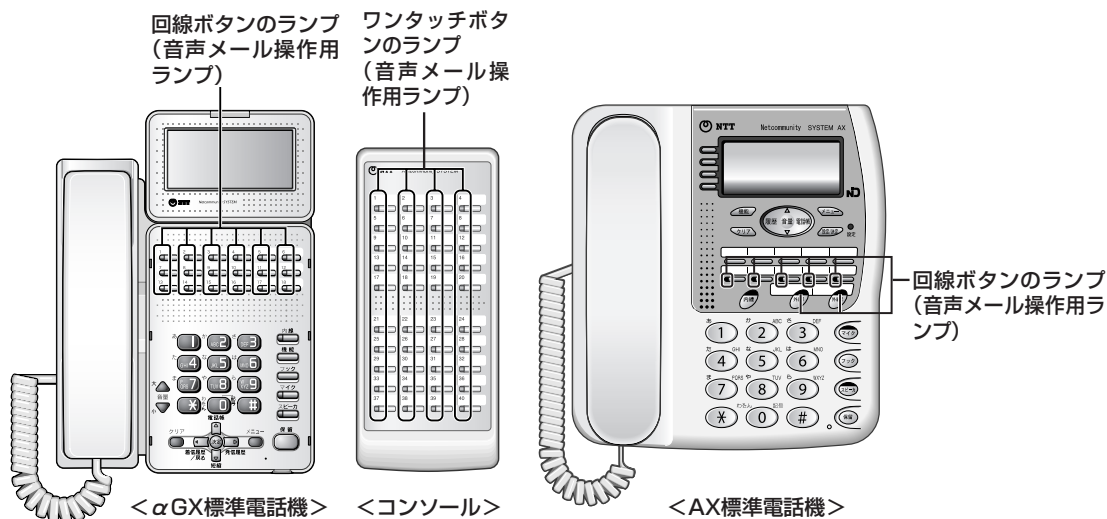
この取扱説明書では、各音声メール操作サービスボタンの名称を「録音ボタン」（録音の機能を設定したサービスボタンの場合）のように記載しています。

なお、ネットコミュニティシステム αGX typeS/typeMの取扱説明書では、同様のボタンの名称を「サービスボタン（録音）」のように記載しています。

音声メール操作ボタンとランプ表示

【ランプ表示】

回線ボタンに音声メール操作ボタンを設定すると、各ボタンのランプが表示されます。音声メール操作ランプの種類は、下表を参照してください。



■ ランプの表記について

この取扱説明書では、ランプについて以下のように表します。



ランプの種類	ランプのつきかた (色)	電話機の状態	
録音ランプ	点灯 (赤) または (緑)	通話録音中／コメント録音中	送信先ボックスを設定していないときは (赤) 送信先ボックスを設定しているときは (緑)
	遅い点滅 (約0.5秒周期) (赤) または (緑)	通話録音一時停止中／コメント録音一時停止中／通話録音保留中	
	点滅 (赤) または (緑)	録音時間をオーバーしたとき	
録音モードランプ	点灯 (赤)	自動通話録音モードのとき	
ボックス(再生)ランプ	遅い点滅 (約1秒周期) (緑)	対応のボックスにメッセージが届いたとき	
お待たせランプ	点灯 (赤)	電話がかかってきたときにお待たせボタンを押した状態 (外線ボタンを押して、お待たせメッセージを流すまで)	
留守ランプ	点灯中、周期的に2回消える (赤)	留守番電話をセットしているとき	
外線ランプ	点灯中、周期的に2回消える (赤)	留守ボタンを押して、留守番電話をセットしているとき	
	周期的に2回点灯 (緑)	留守番電話応答中	
	遅い点滅 (約0.5秒周期) (緑)	留守番電話が応答・録音中に相手の方の声をモニタしているとき	



ワンポイント

■ ボックス (再生) ランプの消灯の設定

ボックス (再生) ランプのランプが消えるのを「メッセージを全て消去したとき」「メッセージを全て再生したとき」のいずれかに「システム設定」により設定することができます。お買い求め時は「メッセージを全て再生したとき」に設定されています。



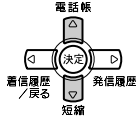

GX-TEL-<1>をお使いの場合

本書では、αGX標準電話機（P14）を例に操作手順を説明しています。ボタンの配置が異なりますが、GX-TEL-<1>でも、ほとんどの操作はαGX標準電話機と同じボタンを使用します。

音声メール操作ボタンは、αGX標準電話機と同様に、10種類のボタンを設定することができます。

GX-TEL-<1>をお使いの方は、本取扱説明書で説明しているボタンを下記のように読み替えてください。

■ボタン

本書の表記	GX-TEL-<1>の表記
<p>決定ボタン</p> 	<p>設定ボタン </p> <p>メニュー設定のときは、決定ボタンでも操作できます。</p>
<p>上下ボタン</p> 	<p>検索/変換ボタン </p>

【GX-TEL-<1>】

決定ボタン

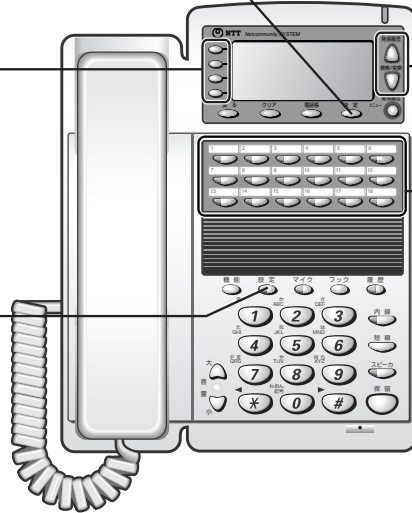
選択した項目や入力した内容などを確定するときに使います。

セレクトボタン

メニューを選択するときなどに使用します。

設定ボタン

いろいろな機能を設定するときに使います。



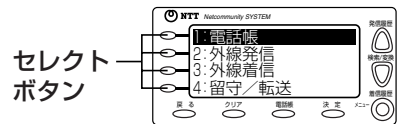
検索/変換ボタン

αGX標準電話機の上下ボタンと同じ動きをします。

音声メール操作ボタン 音声メール操作ランプ

■セレクトボタンについて

設定画面などで、項目番号をダイヤルボタンで押す代わりに、対応するセレクトボタンを押して項目を選択することができます。



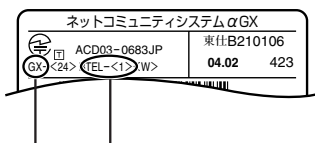
■設定ボタンについて

特番で機能を設定する場合は、内線ボタンを押したあとに設定ボタンを押します。

ワンポイント

●お使いの電話機の種類を確認するには

電話機裏面に貼付されているシールの○の部分をご確認ください。



1
前に
お使いになる

2
留守
番電話と
して利用する

3
再生/
送信する
メッセージを

4
お話しを録音する

5
お待たせメッセージを利用する

6
外出先から操作する

7
ユーザ設定をする

8
ご参考に

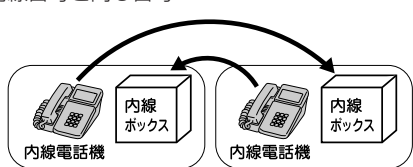
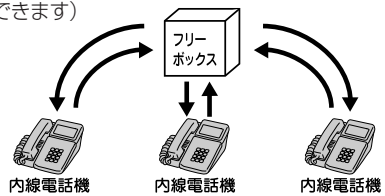
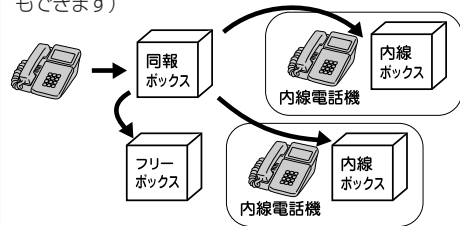
音声メール操作ボタンとランプ表示

【ボックスの種類について】

留守番電話のメッセージや、通話録音した内容は「ボックス」に保存されます。「ボックス」の録音内容を再生するには、「ボックス（再生）ボタン」または「ボックス番号」を使用します。留守番電話のメッセージや通話録音した内容が録音されると、対応するボックス（再生）ボタンのランプが緑でゆっくり点滅してお知らせします。

「ボックス（再生）ボタン」と「ボックス番号」は、通話録音やメッセージ転送などの宛先の指定として使用することもできます。

<例>電話機毎設定の機能を設定する場合

ボックスの種類	ボックス番号	使用方法
内線ボックス	内線番号と同じ番号 	内線電話機ごとに割り当てられるボックスです。ボックス（再生）ボタンを押して、そのボックスに録音された内容を再生することができます。他の人に再生されないように暗証番号を登録することができます。
フリーボックス	770～789（20ボックス） （ボックス番号は、「システム設定」で変更することもできます） 	共通で使用するボックスです。ボックス（再生）ボタンを押して、そのボックスに録音された内容を再生することができます。暗証番号を登録することはできません。
同報ボックス （同報グループ）	681～686（6ボックス） （ボックス番号は、「システム設定」で変更することもできます） 	一度に複数の相手の方へ同じメッセージを送るときに使います。

1
前に
お使いになる

2
留守番電話と
して利用する

3
再生/送信する
メッセージを

4
お話しを録音
する

5
お待たせメッセー
ジを利用する

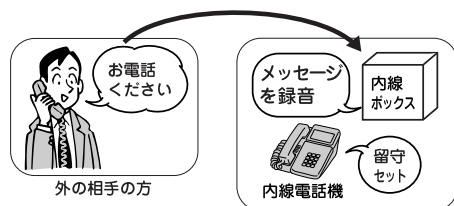
6
外出先から
操作する

7
ユーザ設定を
する

8
ご参考に

■メッセージが録音されるボックス

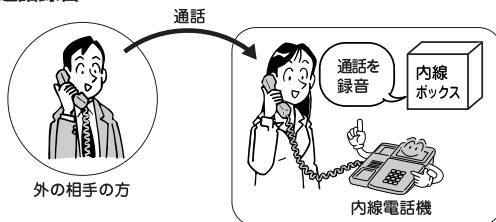
<留守番電話>



留守番電話をセットした内線電話機の内線ボックスにメッセージが録音される

- 「システム設定」で、録音されるボックスを変更することができます。

<通話録音>



通話録音をしている内線電話機の内線ボックスに通話が録音される

<メッセージ録音>



指定（ダイヤル）したボックス番号の内線ボックスにメッセージが録音される

<メッセージ転送>



指定（ダイヤル）したボックス番号の内線ボックスにメッセージが転送される



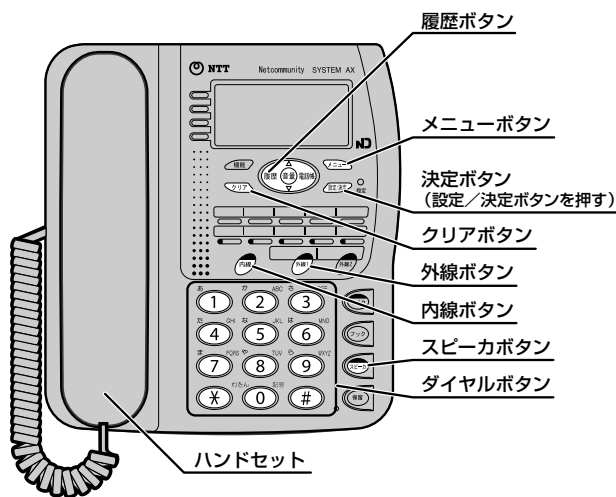
▶ 最大録音時間は？ (P88)

▶ 最大録音件数は？ (P88)

暗証番号を登録するには

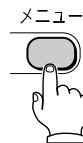
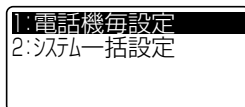
暗証番号（1～4桁の数字）を内線電話機ごとに登録することができます。お買い求め時は「0000」が設定されています。

暗証番号を登録すると、留守番電話のメッセージの再生、通話録音の再生やリモート設定などを暗証番号を知っている人だけが操作できるようになります。

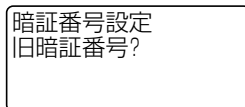


1 ハンドセットを置いたまま、メニューボタンを押します。

メインメニューが表示されます。

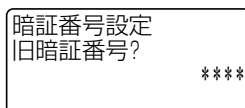


2 1 (WXYZ) 9 (ABC) 2 を押します。



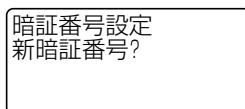
3 現在の暗証番号（1～4桁の数字）をダイヤルボタンで押します。

お買い求め後、はじめて暗証番号を登録するときは「0000」を入力します。



入力した暗証番号は「*」で表示されます。間違えたときはクリアボタンを押して消去し、入力し直します。

4 決定ボタンを押します。



5 新しい暗証番号（1～4桁の数字）をダイヤルボタンで押します。

暗証番号設定
新暗証番号？



間違えたときはクリアボタンを押して消去し、入力し直します。

6 決定ボタンを押します。

暗証番号設定
もう一度新暗証番号？



7 もう一度新しい暗証番号（1～4桁の数字）をダイヤルボタンで押します。

暗証番号設定
もう一度新暗証番号？



間違えたときはクリアボタンを押して消去し、入力し直します。

8 決定ボタンを押します。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、暗証番号が登録されます。



戻るボタンを長く（AX電話機では履歴ボタンを繰り返し）押して、待機画面に戻ります。

ワンポイント

- 登録を中止するには
戻るボタンを長く（AX電話機では履歴ボタンを繰り返し）押します。登録が中止され、待機画面に戻ります。
- 暗証番号を間違えたときは
「暗証番号が違います」と表示されます。戻るボタン（AX電話機では履歴ボタン）を押して、手順3からもう一度操作をやり直してください。
- 登録中に電話がかかってきたときは
着信音は鳴らず、ランプ表示で着信をお知らせします。登録を中止して応答するときは、ハンドセットを取りあげてから外線ボタンを押します。
- 入力した暗証番号を一度に消去するには
クリアボタンを長押し（2～3秒）します。
- 暗証番号を消去するには
手順5、手順7で新しい暗証番号を入力しないで、手順6、手順8で決定ボタンを押します。
- 特番で暗証番号を設定するには
次の手順で暗証番号を登録することもできます。
 - ①内線ボタンを押す
 - ②決定ボタンを押す
 - ③暗証番号設定の特番（**1** **42** []）を押す
 - ④現在の暗証番号（1～4桁の数字）をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す
 - ⑤新しい暗証番号（1～4桁の数字）をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す
 - ⑥もう一度新しい暗証番号（1～4桁の数字）をダイヤルボタンで押し、決定ボタンを押す
 - ⑦スピーカボタンを押す

お知らせ

- 暗証番号は別にメモをとるなどして忘れないようにしてください。
- 暗証番号には、*、#は登録できません。
- メニュー設定中、約2分間何もボタンを押さないと、メニュー設定が終了します。
- 暗証番号が登録されていない場合は、手順3で暗証番号を入力しないで、手順4へ進みます。

1 お使いになる前に

2 留守番電話として利用する

3 メッセージを再生/送信する

4 お話しを録音する

5 お待たせメッセージを利用する

6 外出先から操作する

7 ユーザー設定をする

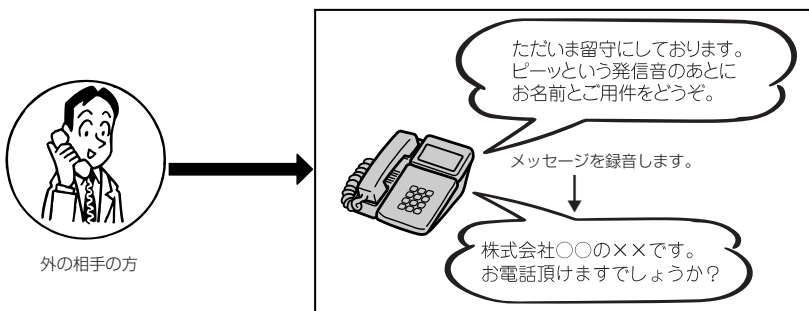
8 ご参考に

留守番電話について

留守番電話をセットすると、外の相手の方からの電話に音声メールが代わって応答し（自動的に応答メッセージを流し）、用件（メッセージ）を録音することができます。また、応答専用のメッセージを流して自動的に電話を切ることもできます。

■録音用

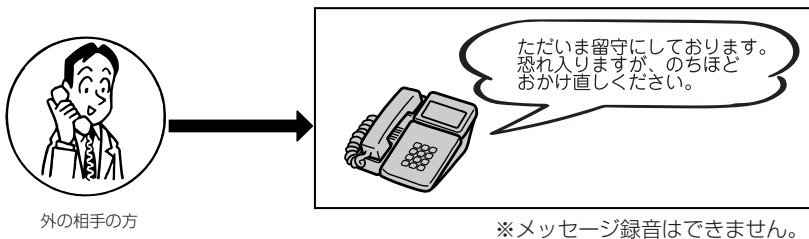
応答メッセージで答えるとともに、メッセージの録音を行う場合の使いかたです。



留守番電話の応答メッセージを設定するには (●P72)

■応答専用

応答専用の応答メッセージで答えます。メッセージの録音を行う必要のない場合の使いかたです。



留守番電話の応答メッセージを設定するには (●P72)

留守番電話を応答専用を設定するには (●P82)

1
前に
お使いになる

2
留守番電話と
して利用する

3
メッセージを
再生／送信する

4
お話しを録音
する

5
お待たせメッセー
ジを利用する

6
外出先から
操作する

7
ユーザ設定を
する

8
ご参考に



ワンポイント

○メッセージが録音されたことを携帯電話などにお知らせするには (☛P32)



- ▶ 最大録音時間は？ (☛P88)
- ▶ 最大録音件数は？ (☛P88)
- ▶ 録音メモリがいっぱいのときは？ (☛P88)
- ▶ 音声メールの録音・再生回路に空きがないときは？ (☛P88)

留守番電話を利用するには

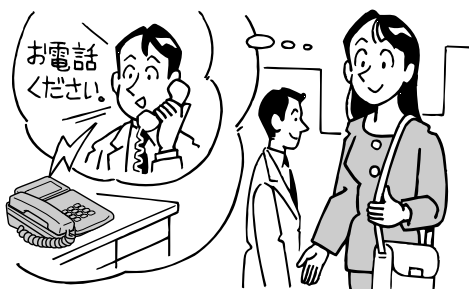
留守番電話の利用のしかたは以下のとおりです。

ご利用の前に、電話がかかってきたときに留守番電話で応答する回線をあらかじめ設定しておいてください。(●P26)

外出するとき



外出中



留守番電話をセットします

留守ボタンを押して、留守番電話をセットします。また、外出先などから留守番電話をセットすることもできます。

■留守番電話をセットする

留守番電話をセットするには (●P28)

外出先などから留守番電話をセットするには (●P68)

■利用できる応答メッセージ

応答メッセージの種類は (●P22)

メッセージが録音されます

留守中でも自動的に電話がつながり、メッセージが録音されます。外出先へメッセージが録音されたことを通知することもできます。(●P32)

■相手の方のメッセージ録音

呼出音が聞こえます。

自動的に電話がつながり、「ただいま留守にしております。…」などの応答メッセージが流れます。

「ピーッ」という音のあとに、相手の方がお話したメッセージが録音されます。

電話を切ると、録音されたメッセージが自動的に内線ボックスに保存されます。

1
前に
お使いになる

2
留守番電話と
して利用する

3
メッセージを
再生／送信する

4
お話しを録音
する

5
お待たせメッセー
ジを利用する

6
外出先から
操作する

7
ユーザ設定を
する

8
ご参考に

外出先からの操作



帰社したら



外出先から操作ができます

外出先からメッセージを再生することができます。また、留守番電話のセットを忘れて外出したときは、リモート設定で留守番電話をセットすることができます。

■外出先からの操作

外出先などから録音内容を再生するには (●P62)

外出先などから留守番電話をセットするには (●P68)

メッセージを再生します

外出中にメッセージが録音されていると、自分の内線電話機のボックス（再生）ランプが緑でゆっくり点滅します。ボックス（再生）ボタンを押して録音されたメッセージを再生します。また、他の内線電話機から、メッセージを再生することもできます。

■留守を解除する

留守番電話を解除するには (●P28)

■メッセージを聞き直す

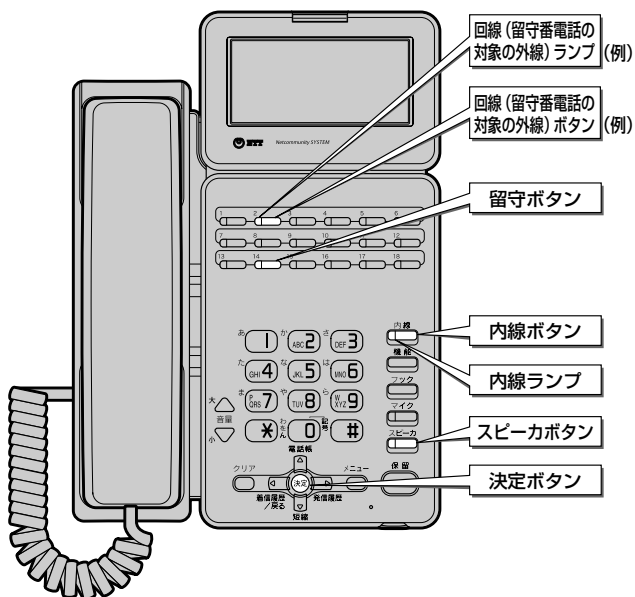
録音内容を再生するには (●P38)

外出先などから録音内容を再生するには (●P62)



留守番電話の対象となる回線を設定するには

電話がかかってきたときに留守番電話で応答する回線を設定します。お買い求め時は設定されていません。



1 内線ボタンを押します。

「ツーツー…」という音を確認してください。内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

9月19日(月) 午後 3:05
内線



2 決定ボタンを押します。

「ツツツ…」という音を確認してください。



3 留守ボタンを押します。

留守番電話回線設定



4 留守番電話の対象とする外線ボタンを押します。

外線ランプが点灯します。設定を解除するときは、もう一度外線ボタンを押して外線ランプを消灯させます。複数の回線を設定するときは、続けて外線ボタンを押します。



ワンポイント

- 留守番電話で応答する回線を確認するには
留守番電話をセットすると、応答する回線ランプが赤く点灯し、周期的に2回消えます。

5 決定ボタンを押します。

「ピーピー」という確認音が聞こえ、留守番電話対象回線が設定されます。



6 スピーカボタンを押します。

9月19日(月) 午後 3:05
10



1
前に
お使いになる

2
留守番電話と
して利用する

3
メッセージを
再生/送信する

4
お話しを録音
する

5
お待たせメッセー
ジを利用する

6
外出先から
操作する

7
ユーザ設定を
する

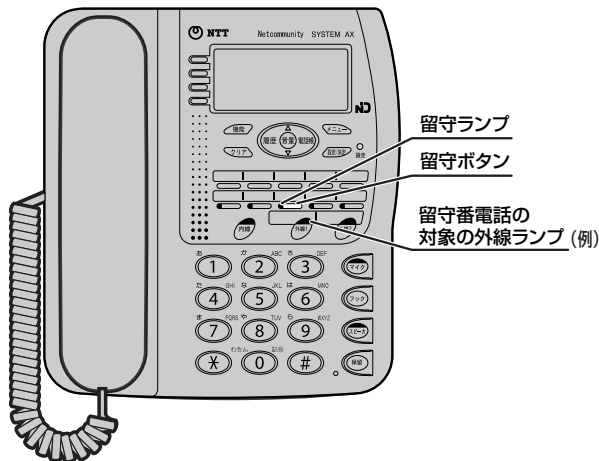
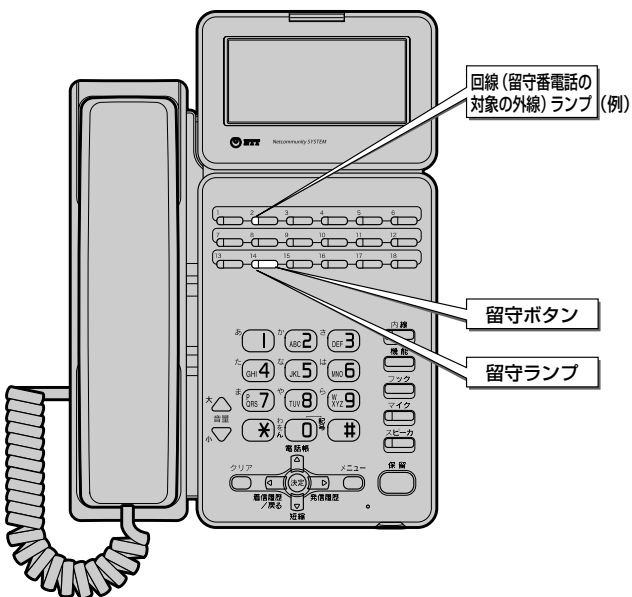
8
ご参考に



お知らせ

- 留守番電話がセットされているときは、留守番電話の対象となる回線を設定できません。留守番電話を解除してから設定してください。
- 手順4で、すでに転送電話の対象回線に設定されている外線ボタンを押しても無効となります。

留守番電話をセットするには



留守番電話をセット／解除する

1 留守ボタンを押します。

留守番電話がセットされます。
留守ランプと留守番電話対象回線の外線ランプが赤で点灯し、周期的に2回消えます。

9月19日(月) 午後 3:05
10
留守設定中



2 留守番電話を解除するときは、もう一度留守ボタンを押します。

9月19日(月) 午後 3:05
10





ワンポイント

- **録音されたメッセージを再生するには**
留守番電話をセットした電話機の内線ボックスを指定して再生します。「システム設定」で録音先のボックスを変更することもできます。
録音内容を再生するには (P38)
ボックス番号を指定して録音内容を再生するには (P40)
- **録音中に最大録音時間をオーバーすると**
録音は自動的に終了し、
「メッセージを受け付けました。ご利用ありがとうございました。」
というガイダンスのあと電話が切れます。
- **外出先などから録音内容を再生するには (P62)**
- **外出先などから留守番電話をセットするには (P68)**
- **電話がかかってきてから留守番電話が応答するまでの時間は**
0～255秒の間に設定できます。(P80) お買い求め時は、「0秒」に設定されていますので、着信音が鳴らずに留守番電話が応答します。
- **留守番電話の対象となる回線を設定するには (P26)**



お知らせ

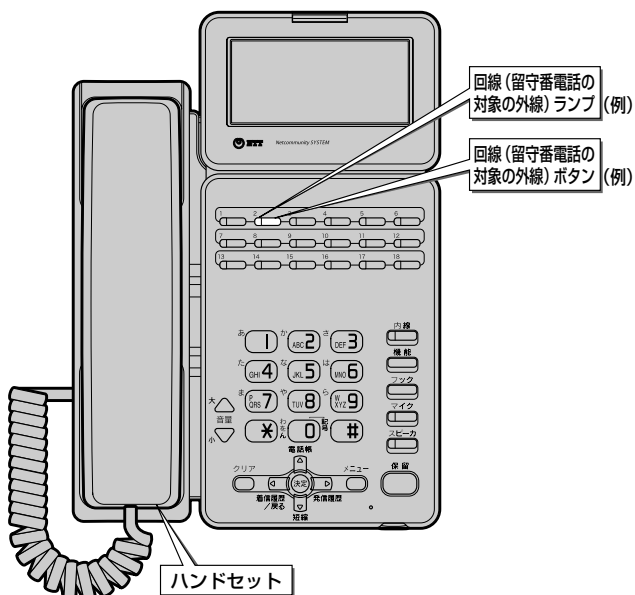
- 留守番電話の対象となる回線に着信しているときに留守ボタンを押すと、留守番電話が応答します。
- ダイヤルイン着信などの電話機ごとの個別着信を留守番電話で応答させるには、「システム設定」が必要です。



- ▶ 最大録音時間は？ (P88)
- ▶ 最大録音件数は？ (P88)
- ▶ 録音メモリがいっぱいのときは？ (P88)
- ▶ 音声メールの録音・再生回路に空きがないときは？ (P88)

相手の方を確かめてから電話に出るには (居留守応答)

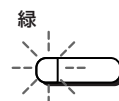
留守番電話が応答、録音しているときに相手の方の声を聞き、確認してから電話に出る（居留守応答）ことができます。



1 留守番電話をセットしているときに電話がかかってくると留守番電話が応答します。

外線ランプが周期的に2回点灯します。

9月19日(月) 午後 3:05
10
留守設定中



2 ランプが緑色で周期的に2回点灯している外線ボタンを押します。

外線ランプがゆっくり点滅します。

留守番電話応答中
留守設定中



3 ハンドセットを取りあげます。

相手の方が留守番電話に録音している声が聞こえます。



4 電話に出るときは、もう一度外線ボタンを押します。

メッセージの録音は終了し、相手の方とお話できるようになります。

9月19日(月) 午後 3:05
0-20
留守設定中



5 お話が終わったら、ハンドセットを置きます。



1
前に
お使いになる

2
留守番電話と
して利用する

3
メッセージを
再生/送信する

4
お話しを録音
する

5
お待たせメッセー
ジを利用する

6
外出先から
操作する

7
ユーザ設定を
する

8
ご参考に



ワンポイント

☒ 電話をかけてきた相手の方の声をスピーカで聞くには「システム設定」により、自動的にスピーカで聞こえるように設定することもできます。電話に出るときは、手順4から操作します。



お知らせ

お買い求め時は、電話に出るまでに録音された内容は消去されるように設定されています。「システム設定」で、電話に出るまでに録音された内容を保存するように設定することもできます。

留守番電話にメッセージが録音されたことを携帯電話などにお知らせするには

留守番電話にメッセージが録音されたときに、通知先として登録した携帯電話などを呼び出して、メッセージが録音されたことをお知らせすることができます（着信通知）。着信通知を利用するときは、以下の設定を行います。

設定項目	内容	参照ページ
着信通知先の電話番号を登録する	着信通知を行うときの、通知先の携帯電話などの電話番号を登録します。「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。	➡P34
着信通知を設定する	着信通知を「する」または「しない」の設定をします。	➡P35

1 留守番電話にメッセージが録音されると、通知先の携帯電話などが呼び出されます。

2 通知先の携帯電話などで電話に出ます。



<暗証番号が登録されているとき>

☎メッセージを受け付けました。暗証番号と#をどうぞ。

<暗証番号が登録されていないときは>

☎メッセージを受け付けました。メッセージの再生は1を押してください。

3 ガイダンスに従って操作します。



ワンポイント

● 暗証番号を間違えたときは

【← 暗証番号が違います。もう一度暗証番号と#をどうぞ。というガイダンスが聞こえます。もう一度、暗証番号と#を押してください。3回間違えると、自動的に電話が切れます。

● 着信通知を受けることができる電話機は

携帯電話またはプッシュ信号を送ることができる電話機をご利用ください。ダイヤル回線に接続されている電話機でも、プッシュ信号を送る機能があれば、メッセージを再生することができます。

● 他のメッセージが録音されたときは

「録音内容を転送するには」(☛P44)、「他の人にメッセージを送信するには」(☛P46)、「録音内容を他のボックスに送信するには」(☛P49、P51)、「録音内容にコメントを付けて送信するには」(☛P54)などでメッセージが録音されたときも、通知先として登録した外出先の携帯電話などを呼び出して、メッセージが録音されたことをお知らせします。

STOP お問い合わせ

- 通知先から操作するときは、ダイヤルボタンをゆっくりと確実に押してください。
- 携帯電話などでガイダンスやメッセージが聞こえている間に操作した場合は正常に動作しないことがありますので、ガイダンスやメッセージが終了してから操作してください。
- ガイダンスやメッセージが聞こえている間にダイヤルボタンを押す場合は、ガイダンスやメッセージが確実に止まるように、少し長めに押してください(電話機によってはできない場合があります)。



お知らせ

- 通知先が応答しないときや通話中の場合は、約3分ごとに最初の発信を含め3回までかけ直します。
- 通知先の携帯電話などで電話に出たあと、ガイダンスの再生が終了してから約7秒何も操作しないと、再度ガイダンスが再生されます。3回目のガイダンスの再生が終了してから約7秒何も操作をしなかった場合は、自動的に電話が切れます。



▶ 「ボックス番号XXはただいま使用中です。」と聞こえたときは？ (☛P89)

留守番電話にメッセージが録音されたことを携帯電話などにお知らせするには

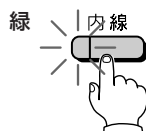
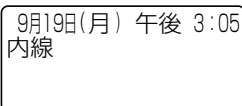
着信通知先の電話番号を登録する

着信通知を行うときの、通知先の携帯電話などの電話番号を登録します。

電話番号の登録は、「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。

1 内線ボタンを押します。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

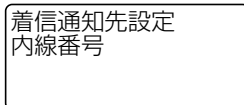


2 決定ボタンを押します。

「ツツツ…」という音を確認してください。

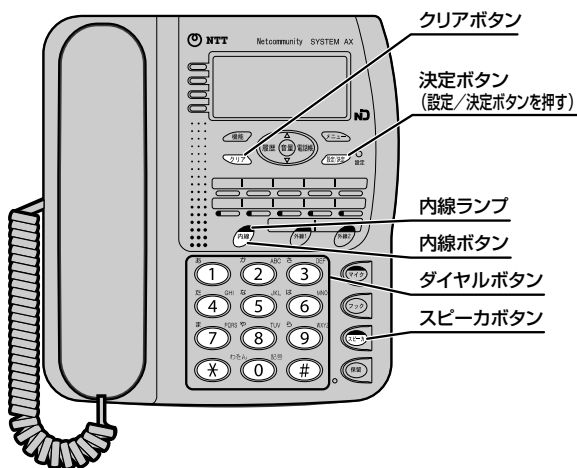
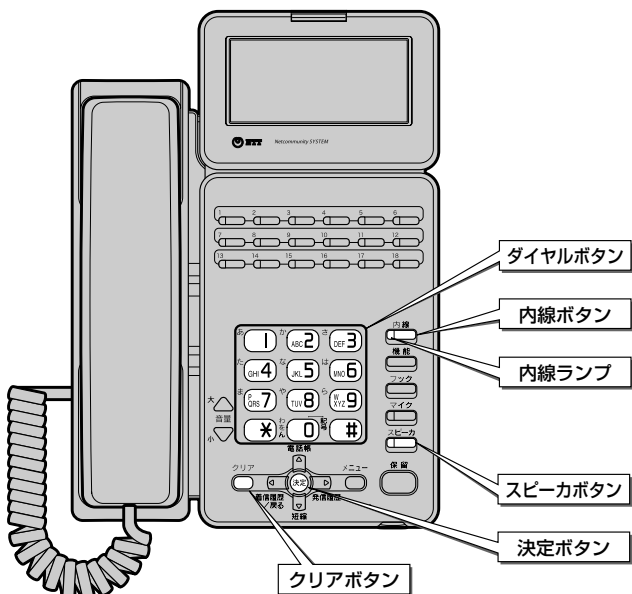
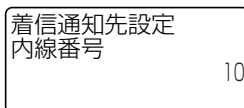


3 音声メール着信通知先設定の特番 ((W XYZ) DEF 3 []) を押します。



4 設定する内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押します。

<例>内線番号10をダイヤルボタンで押した場合



ワンポイント

- 着信通知先の電話番号を消去するには
手順6でクリアボタンを長押し(2~3秒)して着信通知先の電話番号を消去し、手順7へ進みます。
- PBX/CES回線を使用して着信通知をするときは
着信通知先の電話番号の前に、外線発信番号 (0 []) を付けて登録してください。
- 着信通知先に携帯電話番号を登録するときは
着信通知先が携帯電話番号の場合で固定電話発着携帯通話サービスを利用する場合は、事業者識別番号を携帯電話番号の前に登録してください。

5 決定ボタンを押します。

着信通知先設定 : 10



6 着信通知先の電話番号（最大32桁）をダイヤルボタンで押します。

着信通知先設定 : 10

090XXXX1111



間違えたときはクリアボタンを押して消去し、入力し直します。

7 決定ボタンを押します。

「ピーピー」という確認音が聞こえ、着信通知先電話番号が登録されます。



8 スピーカボタンを押します。

9月19日(月) 午後 3:05
10

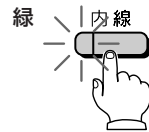


着信通知を設定する

1 内線ボタンを押します。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

9月19日(月) 午後 3:05
内線



2 決定ボタンを押します。

「ツツツ…」という音を確認してください。



3 音声メール着信通知起動設定の特番（ $\text{W}_{\text{XYZ}}9$ $\text{GH}4$ []）を押します。

着信通知設定
0: 設定しない
1: 設定する



4 着信通知を設定するときは 1 、解除するときは 0 を押します。

「ピーピー」という確認音が聞こえ、着信通知起動設定が設定されます。



5 スピーカボタンを押します。

9月19日(月) 午後 3:05
10



1 お使いになる前に

2 留守番電話として利用する

3 メッセージを再生/送信する

4 お話しを録音する

5 お待たせメッセージを利用する

6 外出先から操作する

7 ユーザ設定をする

8 ご参考に

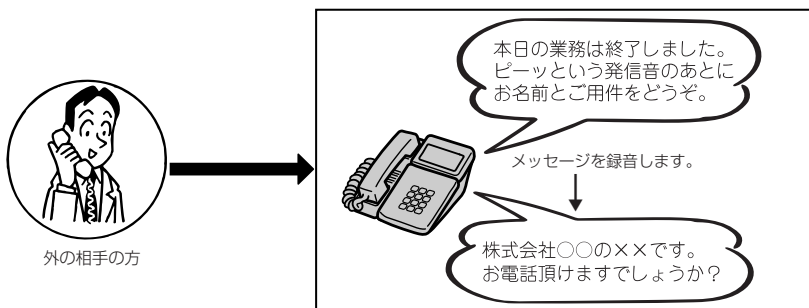
システムモード（昼／夜／休憩／休日）に応じて自動的にシステム留守番電話を利用するには

システムモード（昼／夜／休憩／休日）に応じて、システム留守番電話を利用することができます。サービスのご利用には「システム設定」が必要です。

システム留守番電話をセットすると、外の相手の方からの電話に音声メールが代わって応答し（自動的に応答メッセージを流し）、用件（メッセージ）を録音することができます。また、応答専用のメッセージを流して自動的に電話を切ることもできます。

■録音用

応答メッセージで答えるとともに、メッセージの録音を行う場合の使いかたです。

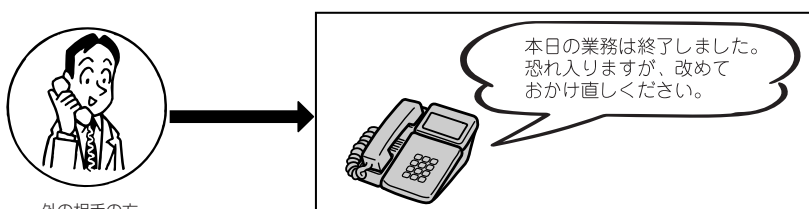


システムモードの種類	録音用の応答メッセージ
昼／休憩モード	ただいま席を外しております。ピーッという発信音のあとにお名前とご用件をどうぞ。
夜モード	本日の業務は終了しました。ピーッという発信音のあとにお名前とご用件をどうぞ。
休日モード	本日は定休日です。ピーッという発信音のあとにお名前とご用件をどうぞ。

システム留守番電話の応答メッセージを設定するには (●P78)

■応答専用

応答専用の応答メッセージで答えます。メッセージの録音を行う必要のない場合の使いかたです。



※メッセージ録音はできません。

システムモードの種類	録音用の応答メッセージ
昼／休憩モード	ただいま席を外しております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください。
夜モード	本日の業務は終了しました。恐れ入りますが、改めておかけ直してください。
休日モード	本日は定休日です。恐れ入りますが、改めておかけ直してください。

システム留守番電話の応答メッセージを設定するには (●P78)

1
前に
お使いになる

2
留守番電話と
して利用する

3
メッセージを
再生／送信する

4
お話しを録音
する

5
お待たせメッセー
ジを利用する

6
外出先から
操作する

7
ユーザ設定を
する

8
ご参考に



ワンポイント

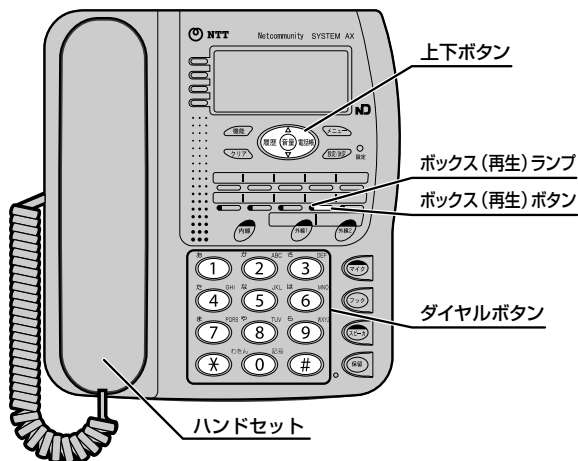
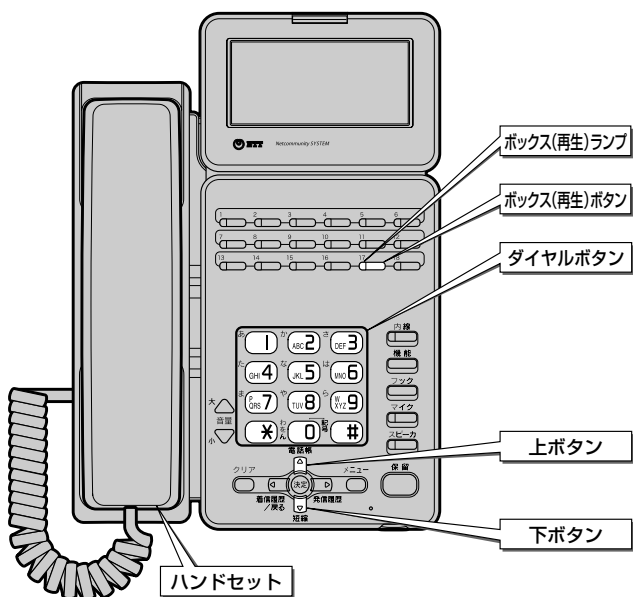
- 録音されたメッセージを再生するには
「システム設定」でシステム留守番電話の録音先に設定されたボックスを指定して再生します。
録音内容を再生するには (☛P38)
ボックス番号を指定して録音内容を再生するには (☛P40)
- 録音中に最大録音時間をオーバーすると
録音は自動的に終了し、
📞メッセージを受け付けました。ご利用ありがとうございました。
というガイダンスのあと電話が切れます。
- 外出先などから録音内容を再生するには (☛P62)
- システム留守番電話の応答メッセージを設定するには (☛P78)
- システム留守番電話を応答専用を設定するには (☛P83)



- ▶ 最大録音時間は？ (☛P88)
- ▶ 最大録音件数は？ (☛P88)
- ▶ 録音メモリがいっぱいのときは？ (☛P88)
- ▶ 音声メールの録音・再生回路に空きがないときは？ (☛P88)

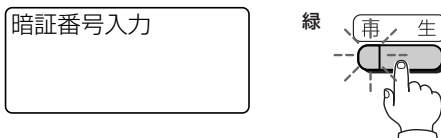
録音内容を再生するには

自分の内線ボックスに留守番電話のメッセージや通話録音した内容が録音されると、自分の内線電話機のボックス（再生）ランプが緑でゆっくり点滅し（受信通知）、ディスプレイに「メッセージ有り」と表示されます。録音内容をワンタッチ操作で再生することができます。



1 ボックス（再生）ランプが緑でゆっくり点滅しているときに、ボックス（再生）ボタンを押してハンドセットを取りあげます。

<例>暗証番号が登録されている場合



<暗証番号が登録されているときは>

☛ 暗証番号と#をどうぞ。

手順2へ進みます。

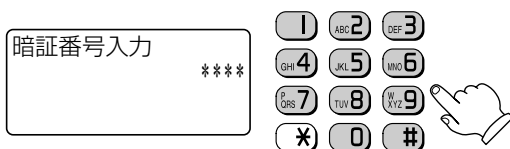
<暗証番号が登録されていないときは>

☛ 新しいメッセージが××件あります。

手順3へ進みます。

2 暗証番号（1～4桁の数字）をダイヤルボタンで押し、続けて **#** を押します。

お買い求め時は「0000」が設定されています。



☛ 新しいメッセージが××件あります。

3 メッセージの内容が聞こえます。

メッセージが順番に再生されます。

9月18日 13:40 1/2
0312345678
1:前へ 2:繰返 3:次へ
4:消去 5:転送 6:保護



メッセージ再生中にできる操作は（☛P39）

すべてのメッセージの再生が終了すると、

☛ メッセージの再生を終了しました。保存メッセージの再生は1を押してください。



▶ 「ボックス番号XXはただいま使用中です。」と聞こえたときは？（☛P89）

4 ハンドセットを置きます。



ワンポイント

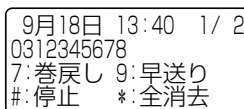
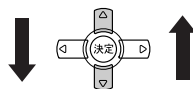
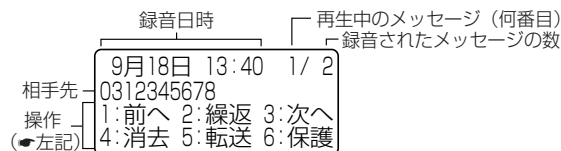
●メッセージ再生中にできる操作

次のボタン操作が行えます。

操 作	押すボタン	操作後の動作
前へ	(1)	1つ前のメッセージを再生する
繰返	(2)	再生中のメッセージを最初から再生する
次へ	(3)	次のメッセージを再生する
消去	(4)	再生中のメッセージを消去する
転送	(5)	再生中のメッセージを他のボックスに転送する
保護	(6)	再生中のメッセージを保護（自動消去禁止・全消去禁止）に設定する
巻き戻し	(7)	メッセージを巻き戻しする
早送り	(9)	メッセージを早送りする
停止	(#)	再生を停止し、下記のガイダンスが聞こえる <ul style="list-style-type: none"> ●新しいメッセージがある場合 ↳メッセージの再生を終了しました。新しいメッセージの再生は1を押してください。 ●新しいメッセージがない場合 ↳メッセージの再生を終了しました。保存メッセージの再生は1を押してください。
全消去	(*)	ボックス内のメッセージをすべて消去する（保護されたメッセージは消去されません）

●操作用のボタンを確認するには

上下ボタンを押すと、メッセージ再生中に使用するボタンを確認できます。



●保存メッセージを再生するには

お買い求め時は、新しいメッセージの再生終了後、再度操作をすることにより保存メッセージ（再生済み）を再生するように設定されています。新しいメッセージと保存メッセージを合わせて再生するには、新規メッセージ優先設定を「優先しない」に設定します。（P87）

このとき、メッセージの件数をお知らせするガイダンスは、次のようになります。

↳新しいメッセージが××件、保存メッセージが××件あります。

また、メッセージの再生終了後のガイダンスは、次のようになります。

↳メッセージの再生を終了しました。メッセージの再生は1を押してください。

●メッセージの再生順序を変更するには

お買い求め時は、古い順に再生するように設定されています。メッセージを新しい順に再生することもできます。（P86）



お知らせ

- 録音件数は2桁で表示されます。録音件数が100件を超える場合でも「99」と表示されます。
- 着信通知を行うように設定しているときも、受信通知は行われます。
- 「システム設定」でタイムスタンプ自動再生が設定されている場合は、手順3のメッセージ再生後にタイムスタンプ（録音日時）が再生されます。
 ↳××月××日××時××分のメッセージです。
 というガイダンスが聞こえます。

- メッセージ再生中に早送り／巻き戻しを行ったときは、4秒区切りで早送り／巻き戻しを行い、早送り／巻き戻し後、区切りの先頭から再生します。早送り／巻き戻しをする時間は「システム設定」により設定できます。
- メッセージ再生時、ディスプレイに相手先が表示されない場合があります。
- メッセージ再生中に上下ボタンを押すと音量も変わります。 **AX**

1 お使いになる前に

2 留守番電話として利用する

3 メッセージを再生／送信する

4 お話しを録音する

5 お待たせメッセージを利用する

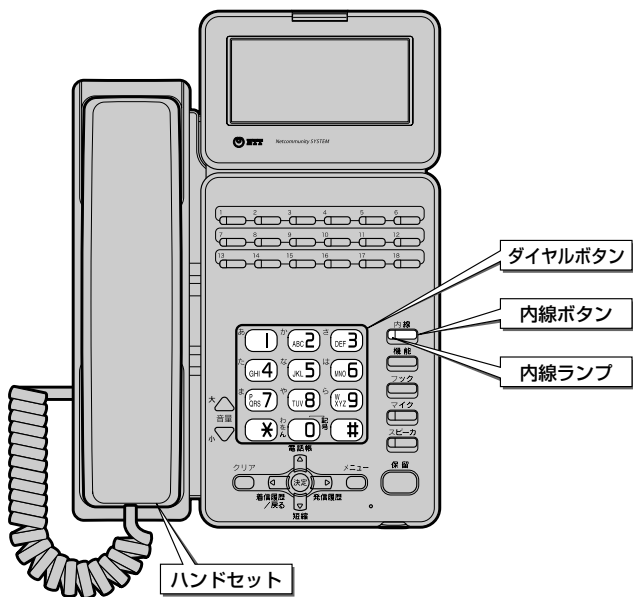
6 外出先から操作する

7 ユーザ設定をする

8 ご参考に

ボックス番号を指定して録音内容を再生するには

自分の内線電話機からボックス番号（内線番号）を指定して、ボックスに録音された留守番電話のメッセージや通話録音した内容を再生することができます。



1 内線ボタンを押し、ハンドセットを取りあげます。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

9月19日(月) 午後 3:05
内線



2 音声メール用のアクセス番号 (P QRS 7 0 1 []) を押します。

9月19日(月) 午後 3:05
701 音声メール



録音は1、再生は2を押してください。

3 ABC 2 を押します。

BOX番号入力



ボックス番号と#をどうぞ。

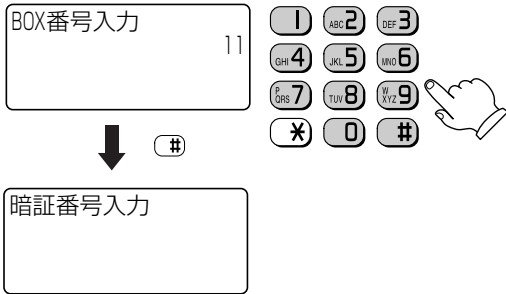


ワンポイント

● 外出先などから録音内容を再生するには (P62)

4 確認したいボックス番号をダイヤルボタンで押し、続けて（#）を押します。

<例>ボックス番号が11の場合



<暗証番号が登録されているときは>

【<暗証番号と#をどうぞ。
手順5へ進みます。

<暗証番号が登録されていないときは>

新しいメッセージがある場合：

【<新しいメッセージが××件あります。

新しいメッセージがない場合：

【<保存メッセージが××件あります。

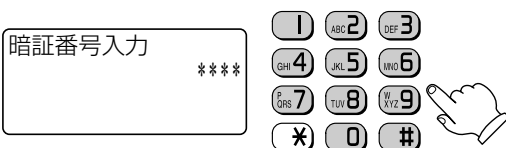
手順6へ進みます。

メッセージがない場合：

【<メッセージはございません。ご利用ありがとうございました。

というガイダンスのあと電話が切れます。

5 暗証番号（1～4桁の数字）をダイヤルボタンで押し、続けて（#）を押します。



新しいメッセージがある場合：

【<新しいメッセージが××件あります。

新しいメッセージがない場合：

【<保存メッセージが××件あります。

メッセージがない場合：

【<メッセージはございません。ご利用ありがとうございました。

というガイダンスのあと電話が切れます。

6 メッセージの内容が聞こえます。

メッセージが順番に再生されます。

9月18日 13:40 1/2
0312345678
1:前へ 2:繰返 3:次へ
4:消去 5:転送 6:保護



メッセージ再生中にできる操作は（←P39）

すべてのメッセージの再生が終了すると、

【<メッセージの再生を終了しました。保存メッセージの再生は1を押してください。

7 ハンドセットを置きます。



ワンポイント

- 保存メッセージを再生するには（←P39）
- メッセージの再生順序を変更するには（←P39）



お知らせ

- 「システム設定」でタイムスタンプ自動再生が設定されている場合は、手順6のメッセージ再生後にタイムスタンプ（録音日時）が再生されます。
【<××月××日××時××分のメッセージです。
というガイダンスが聞こえます。
- 他の人のボックスに録音されたメッセージを再生する場合は、そのボックスに設定されている暗証番号の入力が必要になります。
- メッセージ再生中に早送り／巻き戻しを行ったときは、4秒区切りで早送り／巻き戻しを行い、早送り／巻き戻し後、区切りの先頭から再生します。早送り／巻き戻しをする時間は「システム設定」により設定できます。
- メッセージ再生中に上下ボタンを押すと音量も変わります。 **AX**



▶「ボックス番号XXはただいま使用中です。」と聞こえたときは？（←P89）

1 お使いになる前に

2 留守番電話として利用する

3 メッセージを再生／送信する

4 お話しを録音する

5 お待たせメッセージを利用する

6 外出先から操作する

7 ユーザー設定をする

8 ご参考に

録音内容を消去するには

自分の内線ボックスに録音された留守番電話のメッセージや通話録音した内容を消去することができます。

1 「録音内容を再生するには」の手順1~2を行います。(P38)

2 メッセージの再生中に、「次へ」(DEF 3)、 「前へ」(GHI 4) を押して、消去したいメッセージを選択します。



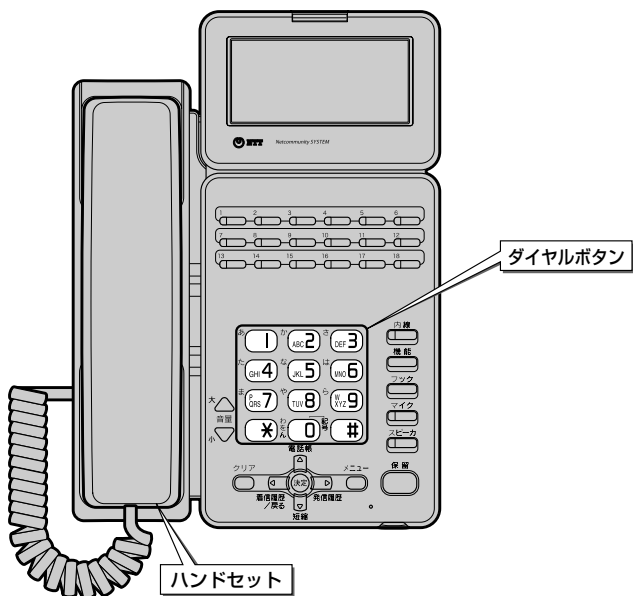
メッセージ再生中にできる操作は (P39)

3 消去したいメッセージの再生中に、「消去」(GHI 4) を押します。



メッセージを消しました。
次のメッセージが再生されます。
続けて他のメッセージを消去する場合は、手順2、3を繰り返します。

4 ハンドセットを置きます。



1
前に
お使いになる

2
留守番電話と
して利用する

3
メッセージを
再生／送信する

4
お話しを録音
する

5
お待たせメッセー
ジを利用する

6
外出先から
操作する

7
ユーザ設定を
する

8
ご参考に



ワンポイント

●他のボックスに録音されたメッセージを消去するには

- ①「ボックス番号を指定して録音内容を再生するには」の
手順1～5を行う（☛P40）
- ②手順2～4を行う

●メッセージをすべて消去するには

新規メッセージ優先設定（☛P87）が「優先する」
に設定されている場合（お買い求め時の設定）

<新しいメッセージをすべて消去する>

- ①新しいメッセージの再生中に、全消去（**☒**）を押す
☒すべてのメッセージを消去します。決定は1、中止
は0をどうぞ。
- ② **☐** を押す
 - まだ聞いていないメッセージも消去されます。
 - すでに聞いたメッセージ（保存メッセージ）は消去されません。

<メッセージをすべて消去する>

- ①新しいメッセージをすべて再生する
- ②すでに聞いたメッセージ（保存メッセージ）の再生中に、全消去（**☒**）を押す
☒すべてのメッセージを消去します。決定は1、中止
は0をどうぞ。
- ③ **☐** を押す

新規メッセージ優先設定（☛P87）が「優先しない」
に設定されている場合

- ①新しいメッセージの再生中に、全消去（**☒**）を押す
☒すべてのメッセージを消去します。決定は1、中止
は0をどうぞ。
- ② **☐** を押す
 - まだ聞いていないメッセージも消去されます。

●保護されているメッセージを消去しようとすると

☒このメッセージは保護されています。強制消去は1、
中止は0をどうぞ。

というガイダンスが聞こえます。 **☐** を押すと消去することができます。



お知らせ

- 「システム設定」の自動消去日数設定により、一定日数（1～30日）経過すると録音されたメッセージが自動的に消去されます。ただし、保護されているメッセージは消去されません。
- 「全消去」を行っても、保護されているメッセージは消去されません。

録音内容を転送するには

自分の内線ボックスに録音されたメッセージや通話録音した内容を、他のボックスへ転送することができます。

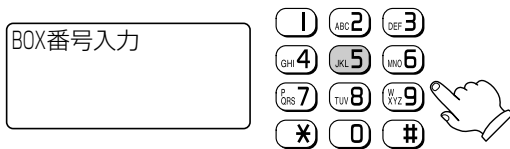
1 「録音内容を再生するには」の手順1~2を行います。(P38)

2 メッセージの再生中に、「次へ」(DEF 3)、「前へ」(JKL 1)を押して、転送したいメッセージを選択します。

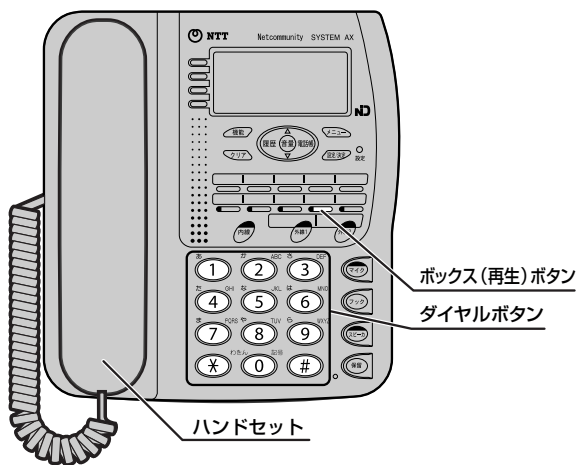
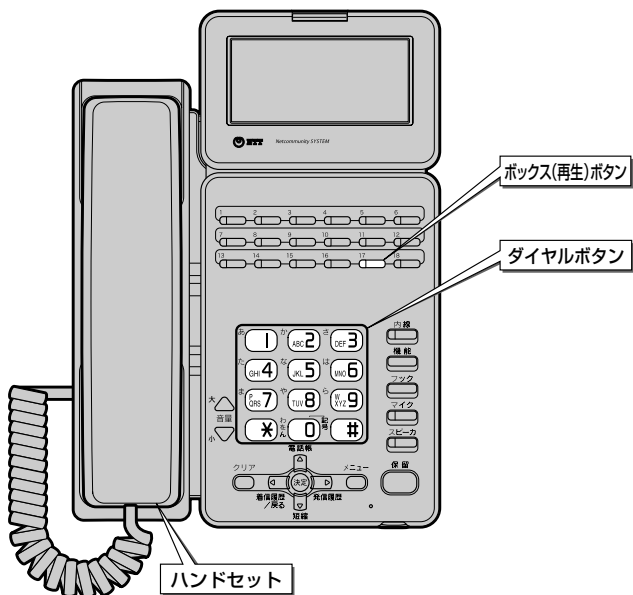


メッセージ再生中にできる操作は (P39)

3 転送したいメッセージの再生中に、「転送」(JKL 5)を押します。

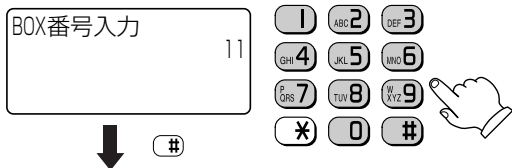


転送先ボックス番号と#をどうぞ。



4 転送先のボックス番号をダイヤルボタンで押し、続けて **#** を押します。

<例> 転送先のボックス番号が11の場合



9月18日 15:05 2/2
0451234567
1:前へ 2:繰返 3:次へ
4:消去 5:転送 6:保護

☑ ボックス番号11にメッセージを転送しました。

次のメッセージが再生されます。

続けて他のメッセージを転送する場合は、手順2~4を繰り返します。

転送先のボックス（再生）ボタンを押して、転送先を指定することもできます。

5 ハンドセットを置きます。



ワンポイント

- 他のボックスに録音されたメッセージを転送するには
①「ボックス番号を指定して録音内容を再生するには」の手順1~5を行う（▶P40）
②手順2~5を行う



お知らせ

- メッセージを転送しても自分のボックスのメッセージは消去されません。
- 転送先の録音件数がいっぱいときは、
☑ ボックス番号XXはメッセージがいっぱいで転送できません。転送を中止しました。
というガイダンスが聞こえます。

1
前に
お使いになる

2
留守番電話と
して利用する

3
再生/送信する
メッセージを

4
お話しを録音
する

5
お待たせメッセー
ジを利用する

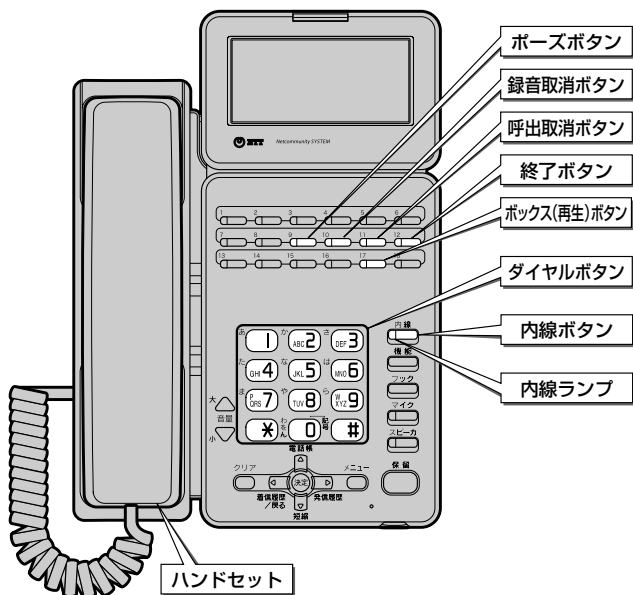
6
外出先から
操作する

7
ユーザ設定を
する

8
ご参考に

他の人にメッセージを送信するには

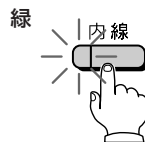
他の方のボックスへメッセージを送信することができます。
内線電話機からでも外出先の携帯電話などからでも行えます。



1 内線ボタンを押し、ハンドセットを取りあげます。

「ツーツ…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

9月19日(月) 午後 3:05
内線

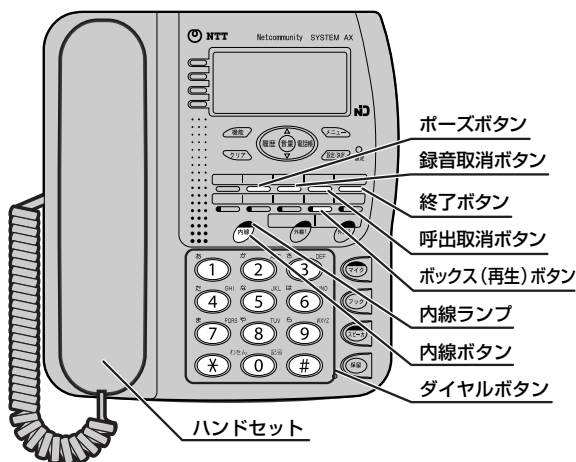


2 音声メール用のアクセス番号 (P. QRS 7) 0 1 [] を押します。

9月19日(月) 午後 3:05
701 音声メール



録音は1、再生は2を押してください。



3 1 を押します。

BOX番号入力



送信先ボックス番号と#をどうぞ。

お知らせ

- メッセージを送信する相手先の録音件数がいっぱい
のときは、
「ボックス番号XXはメッセージがいっぱいで録音で
きません。もう一度送信先ボックス番号と#をどう
ぞ。」
というガイダンスが聞こえます。
- 録音メモリがいっぱいのときは、
「メモリがいっぱいでメッセージを録音できませ
ん。メッセージの録音を中止しました。ご利用
ありがとうございました。」
というガイダンスのあと電話が切れます。

STOP お願い

- 外出先から操作するときは、ダイヤルボタンをゆっ
くりと確実に押してください。
- 携帯電話などでガイダンスが聞こえている間に操作
した場合は正常に動作しないことがありますので、
ガイダンスが終了してから操作してください。
- ガイダンスが聞こえている間にダイヤルボタンを押
す場合は、ガイダンスが確実に止まるように、少し
長めに押してください（電話機によってはできない
場合があります）。

Q&A

- ▶ 最大録音時間は？ (P88)
- ▶ 最大録音件数は？ (P88)
- ▶ 音声メールの録音・再生回路に空きがないと
きは？ (P88)

4 相手の方のボックス番号をダイヤルボタンで押し、続けて **#** を押します。

<例>送信先のボックス番号が11の場合



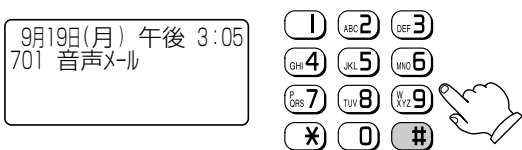
【ボックス番号11にメッセージを録音します。メッセージをどうぞ。ピーツ。

送信先のボックスに対応するボックス（再生）ボタンを押して、送信先を指定することもできます。

5 メッセージをお話してください。



6 メッセージを話し終わったら **#** を押します。



【メッセージを受け付けました。ご利用ありがとうございました。

7 ハンドセットを置きます。



ワンポイント

● 外出先などからメッセージを送信するには

① 音声メール用の電話番号に電話をかける

【ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。内線呼出は1、外線発信は2、リモート設定は3、音声メールサービスは4をどうぞ。

② **4** を押す

③ 手順3～6を行う

● 外出先などからメッセージを送信することができる電話機は

携帯電話機またはプッシュ信号を送ることができる電話機をご利用ください。ダイヤル回線に接続されている電話機でも、プッシュ信号を送る機能があれば、メッセージを送信することができます。

● 録音を一時停止するには

● 録音中に **(*)** またはポーズボタンを押します。

【録音を中断します。

● 録音を再開するときは、もう一度 **(*)** またはポーズボタンを押します。

【録音を再開します。

● 録音を終了するには

録音中または一時停止中に録音を終了することができます。

押すボタン	録音終了後の状態
録音取消ボタン	録音内容を取り消します。
呼出取消ボタン	録音を保存し、終了します。着信通知（●P32）を行いません。
終了ボタン または #	録音を保存し、終了します。

● 録音中に最大録音時間をオーバーすると

録音は自動的に終了し、

【メッセージを受け付けました。ご利用ありがとうございました。

というガイダンスのあと電話が切れます。

● 複数の相手の方に同じメッセージを送信するには

同報ボックスにメッセージを送信すると、一度に複数の相手の方にメッセージを送信することができます（同報メール）。

① 手順1～3を行う

② 送信先の同報ボックス番号をダイヤルボタンで押し、続けて **#** を押す

③ メッセージをお話する

④ メッセージを話し終わったら **#** を押す

⑤ ハンドセットを置く

1 お使いになる前に

2 留守番電話として利用する

3 メッセージを再生/送信する

4 お話しを録音する

5 お待たせメッセージを利用する

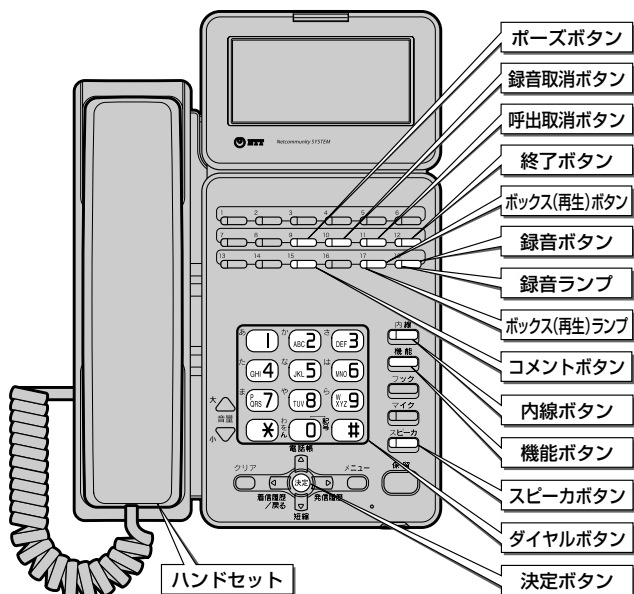
6 外出先から操作する

7 ユーザ設定をする

8 ご参考に

自動で通話を録音するには

外の相手の方とのお話しの内容を自動的に録音することができます（自動通話録音）。ただし、内線どうしでのお話しは自動で録音されません。通話録音モードが自動に設定されている必要があります。（●P52）



1 着信音が鳴ったら、応答操作を行い、ハンドセットを取りあげます。

2 相手の方とお話しください。

録音ランプが赤く点灯し、お話しの内容が録音されます。

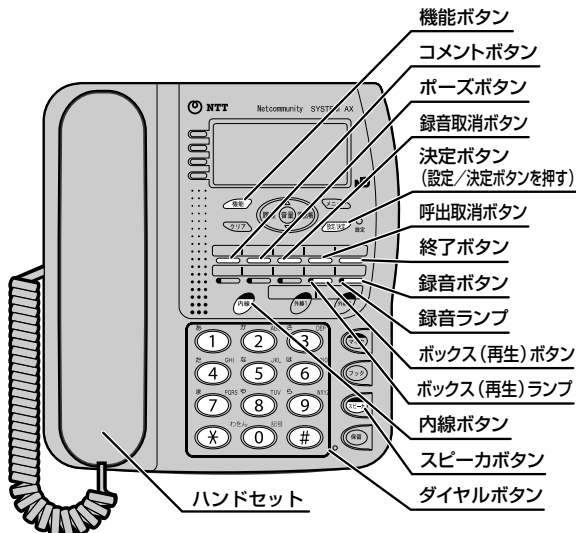
9月19日(月) 午後 3:05
0-06



3 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

録音が終了し、録音ランプが消えます。ボックス（再生）ランプが緑でゆっくり点滅し、ディスプレイに「メッセージ有り」と表示して、メッセージが録音されたことをお知らせします。

9月19日(月) 午後 3:05
10
メッセージ有り



ワンポイント

- 自動通話録音／手動通話録音を切り替えるには（●P52）
- 録音を一時停止するには
一時停止中は、録音ランプがゆっくり点滅します。
 - 録音中に **(*)** またはポーズボタンを押します。
 - 録音を再開するときは、もう一度 **(*)** またはポーズボタンを押します。

STOP お願い

相手の方に無断で通話録音をしないでください。通話録音は、必ず相手の方の了解を得てから録音を始めてください。個人のプライバシーの侵害にあたる場合があります。特に、自動通話録音に設定されている電話機で、相手の方の了解を得られない場合は、通話中に録音取消ボタンを押して通話録音を中止してください。



- ▶最大録音時間は？（●P88）
- ▶最大録音件数は？（●P88）
- ▶音声メールの録音・再生回路に空きがないときは？（●P88）
- ▶通話録音中に使用できない機能、操作は？（●P89）



ワンポイント

●録音を終了するには

録音中または一時停止中に録音を終了することができます。

押すボタン	録音終了後の状態
録音取消ボタン	録音内容を取り消します。
呼出取消ボタン	録音を保存し、終了します。着信通知(●P32)を行いません。
終了ボタン または (Ⓜ)	録音を保存し、終了します。
コメントボタンまたは機能ボタンに 続けて (Ⓜ) (Ⓜ)	録音を終了し、録音内容にコメントを付けて送信します。(●P54) 通話が終了します。

●録音内容を他のボックスに送信するには

① 手順1~2を行う

② ダイヤルボタンで送信先のボックス番号を押したあと (Ⓜ) を押す

録音ランプが赤から緑に変わります。

送信先のボックスに対応するボックス(再生)ボタンを押して、送信先を指定することもできます。

送信先を間違えた場合は、手順②の操作をやり直します。送信先の録音件数がいっぱいでは送信できないときは「ブブブブ」というエラー音が聞こえます。

③ ハンドセットを置く

●録音中に最大録音時間をオーバーすると

「ブブブブ」というエラー音が聞こえ、録音ランプが点滅します。それまでの録音内容は他のボックスに送信することもできます。

●他のボックスに送信する場合

送信先のボックス番号をダイヤルボタンで押し、続けて (Ⓜ) を押し、終了ボタンまたは (Ⓜ) を押して録音を終了してください。

●他のボックスに送信しない場合

終了ボタンまたは (Ⓜ) を押して録音を終了してください。

<録音を再開するときは>

録音ボタンまたは、機能ボタンに続けて音声メール手動通話録音の特番 (Ⓜ) (Ⓜ) [] を押して手動

通話録音を開始してください。

●録音内容を再生するには

メッセージの再生と同様の操作を行います。

録音内容を再生するには (●P38)

ボックス番号を指定して録音内容を再生するには (●P40)

☑保存操作をしないで録音を終了したときは

保存操作(終了ボタンなどで録音を終了する/送信先を指定する/コメントを録音する)をしないで録音を終了した場合の動作は、下記のいずれかに設定することができます。

- 削除(録音内容を取り消す)
- 一定時間後に自動的に削除する
- 応答した内線電話機のボックスに保存する

お買い求め時は「応答した内線電話機のボックスに保存する」に設定されています。

保存操作をしないで録音を終了した場合でも、相手の方が先に電話を切るとコメント録音が始まるため、録音内容が保存される場合があります。

○保存操作をしないで録音を終了したときに録音内容を保存するには(「一定時間後に自動的に消去する」に設定されている場合に限り)

録音を終了しても、一定時間内(5~45分:お買い求め時は5分に設定されています)であれば、下記の保存操作を行うことで録音を保存できます。

保存操作を行う前に停電になり、主装置がバックアップ電池による動作ができなくなったときは、録音を保存できません。

- ① 内線ボタンを押す
- ② 決定ボタンを押す
- ③ 通話録音内容保持設定特番 (Ⓜ) (Ⓜ) [] を押す
- ④ (Ⓜ) を押す
- ⑤ スピーカボタンを押す

●お話しの録音中に相手の方が先に電話を切ったときは

自動的にコメント録音が始まります。コメント録音を行わないときは、そのままハンドセットを置いてください。



お知らせ

●他の内線電話機から転送されてきた場合に、「システム設定」で通話録音ができるように設定できます。

●発信時、自動通話録音はできません。手動通話録音(●P50)はできます。

●内線着信は、自動通話録音できません。手動通話録音(●P50)はできます。

●「一定時間後に自動的に消去する」に設定されている場合は、保存操作をしないで録音を終了したときに一定時間内保存しているメッセージも、ボックスあたりの録音件数に含まれます。

●通話録音中に通話を保留にすると、通話録音は一時停止されます。通話を保留した電話機で、保留に応答すると通話録音が再開します。通話を保留した電話機以外で、保留に応答すると通話録音は終了します。

●通話録音中に相手の方が先に電話を切ると、自動的にコメントの録音が始まります。
録音内容にコメントを付けて送信するには (●P54)
コメント録音が不要な場合は、そのまま電話をお切りください。

1
前にお使いになる

2
留守番電話として利用する

3
メッセージを再生/送信する

4
お話しを録音する

5
お待たせメッセージを利用する

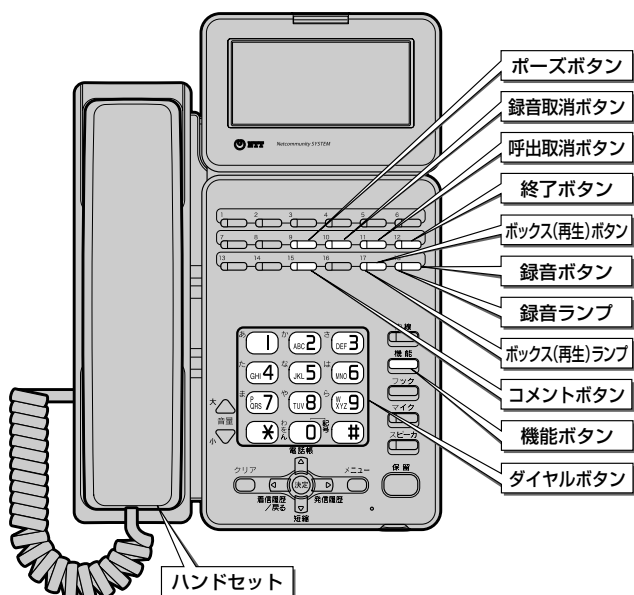
6
外出先から操作する

7
ユーザ設定をする

8
ご参考に

手動で通話を録音するには

相手の方とお話中に録音開始の操作をすると、お話しを録音することができます（手動通話録音）。内線どうしのお話しも録音することができます。



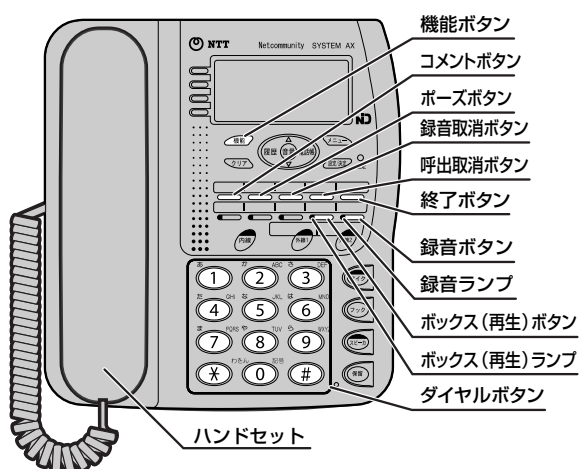
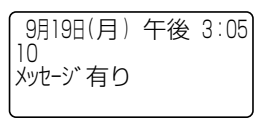
1 相手の方とお話中に、録音ボタンまたは、機能ボタンに続けて音声メール手動通話録音の特番（**W.XY2.9**）を押します。
P.GRS 7 []

録音ランプが点灯し、お話しの内容が録音されます。



2 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

録音が終了し、録音ランプが消えます。ボックス（再生）ランプが緑でゆっくり点滅し、ディスプレイに「メッセージ有り」と表示して、メッセージが録音されたことをお知らせします。



STOP お願い

相手の方に無断で通話録音をしないでください。通話録音は、必ず相手の方の了解を得てから録音を始めてください。個人のプライバシーの侵害にあたる場合があります。特に、自動通話録音に設定されている電話機で、相手の方の了解を得られない場合は、通話中に録音取消ボタンを押して通話録音を中止してください。

Q&A

- ▶ 最大録音時間は？ (☎P88)
- ▶ 最大録音件数は？ (☎P88)
- ▶ 音声メールの録音・再生回路に空きがないときは？ (☎P88)
- ▶ 通話録音中に使用できない機能、操作は？ (☎P89)



ワンポイント

- **お話し中に録音ボタンを押すと**
録音ランプが赤く点灯します。送信先のボックスを指定すると、ランプの色が赤から緑に変わります。
- **自動通話録音/手動通話録音を切り替えるには** (●P52)
- **録音を一時停止するには**
一時停止中は、録音ランプがゆっくり点滅します。
 - 録音中に (✕) またはポーズボタンを押します。
 - 録音を再開するときは、もう一度 (✕) またはポーズボタンを押します。
- **録音を終了するには**
録音中または一時停止中に録音を終了することができます。

押すボタン	録音終了後の状態
録音取消ボタン	録音内容を取り消します。
呼出取消ボタン	録音を保存し、終了します。着信通知 (●P32) を行いません。
終了ボタン または (Ⓜ)	録音を保存し、終了します。
コメントボタン または機能ボタ ンに続けて (Ⓜ) (on 4)	録音を終了し、録音内容にコメントを付けて送信します。(●P54) 通話が終了します。

- **録音内容を他のボックスに送信するには**
 - ① 相手の方とお話し中に、録音ボタンを押す
 - ② ダイヤルボタンで送信先のボックス番号を押したあと (Ⓜ) を押す
録音ランプが赤から緑に変わります。
送信先のボックスに対応するボックス (再生) ボタンを押して、送信先を指定することもできます。
送信先を間違えた場合は、手順②の操作をやり直します。
送信先の録音件数がいっぱいでは送信できないときは「ブブブブブ」というエラー音が聞こえます。
 - ③ ハンドセットを置く

- **録音中に最大録音時間をオーバーすると**
「ブブブブブ」というエラー音が聞こえ、録音ランプが点滅します。それまでの録音内容は他のボックスに送信することもできます。
 - 他のボックスに送信する場合
送信先のボックス番号をダイヤルボタンで押し、続けて (Ⓜ) を押し、終了ボタンまたは (Ⓜ) を押して録音を終了してください。
 - 他のボックスに送信しない場合
終了ボタンまたは (Ⓜ) を押して録音を終了してください。

<録音を再開するときは>

録音ボタンまたは、機能ボタンに続けて音声メール手動通話録音の特番 (Ⓜ) (Ⓜ) [] を押して手動通話録音を開始してください。

- **録音内容を再生するには**
メッセージの再生と同様の操作を行います。
録音内容を再生するには (●P38)
ボックス番号を指定して録音内容を再生するには (●P40)



お知らせ

- 送信先を指定しない場合は、応答した内線電話機のボックスに録音内容が保存されます。
- 録音は録音ボタンを押したところから開始されます。
- 通話録音中に通話を保留にすると、通話録音は一時停止されます。通話を保留した電話機で、保留に応答すると通話録音が再開します。通話を保留した電話機以外で、保留に応答すると通話録音は終了します。
- 内線通話録音中に、相手の方が保留すると通話録音は一時停止されます。相手の方が保留に応答すると、通話録音が再開します。
- 通話録音中に相手の方が先に電話を切ると、自動的にコメントの録音が開始されます。
録音内容にコメントを付けて送信するには (●P54)
コメント録音が不要な場合は、そのまま電話をお切りください。

自動通話録音／手動通話録音を切り替えるには

待機中に録音モードボタンを押すことで、自動通話録音と手動通話録音を切り替えることができます。

<例>手動通話録音モード→自動通話録音モード→手動通話録音モードに切り替える場合

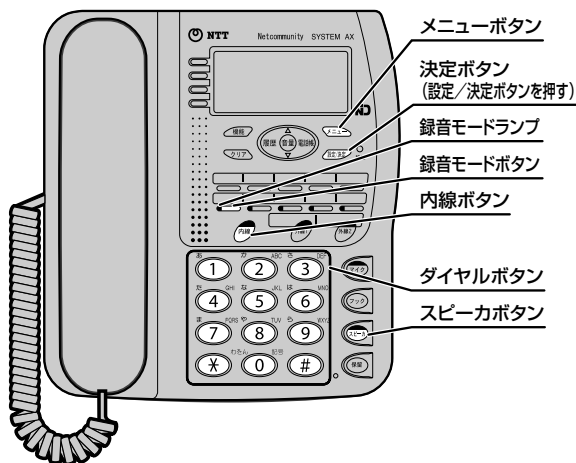
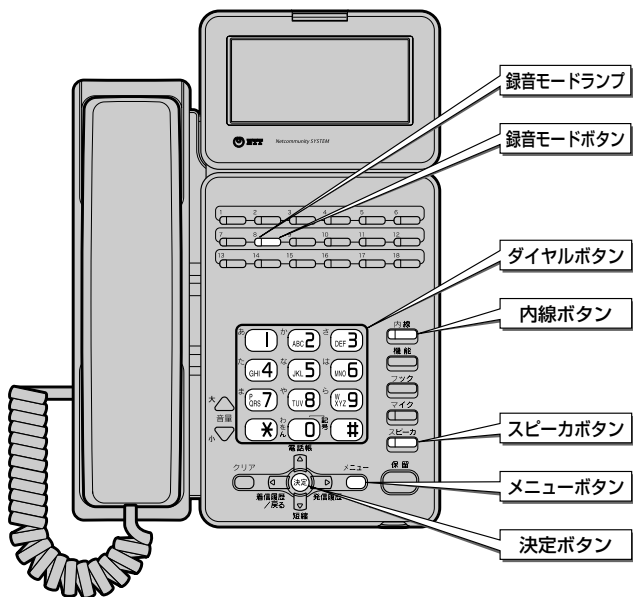
1 待機中に録音モードボタンを押します。

手動通話録音モードから自動通話録音モードに切り替わると、録音モードランプが点灯します。



2 再度、待機中に録音モードボタンを押します。

自動通話録音モードから手動通話録音モードに切り替わると、録音モードランプが消灯します。



1
前に
お使いになる

2
留守番電話と
して利用する

3
メッセージを
再生／送信する

4
お話しを録音
する

5
お待たせメッセー
ジを利用する

6
外出先から
操作する

7
ユーザ設定を
する

8
ご参考に

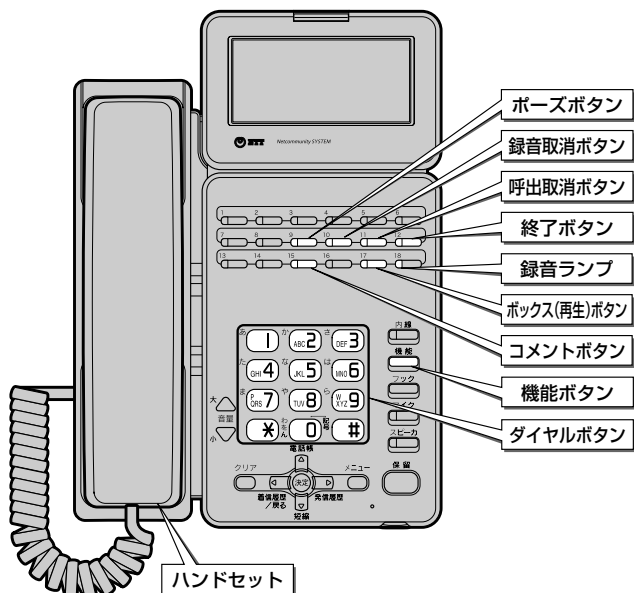


ワンポイント

- メニュー操作で自動通話録音／手動通話録音を切り替えるには
 - ①ハンドセットを置いたまま、メニューボタンを押す
 - ② **[1]** (**[9]**) (**[4]**) を押す
 - ③手動録音は **[0]**、自動録音は **[1]** を押す
- 特番で自動通話録音／手動通話録音を切り替えるには
 - ①内線ボタンを押す
 - ②決定ボタンを押す
 - ③通話録音モード設定の特番 (**[9]**) (**[2]**) [] を押す
 - ④手動通話録音にするときは **[0]**、自動通話録音にするときは **[1]** を押す
 - ⑤スピーカボタンを押す

録音内容にコメントを付けて送信するには

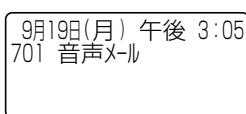
通話録音した内容の前にコメントを付けて送信することができます。



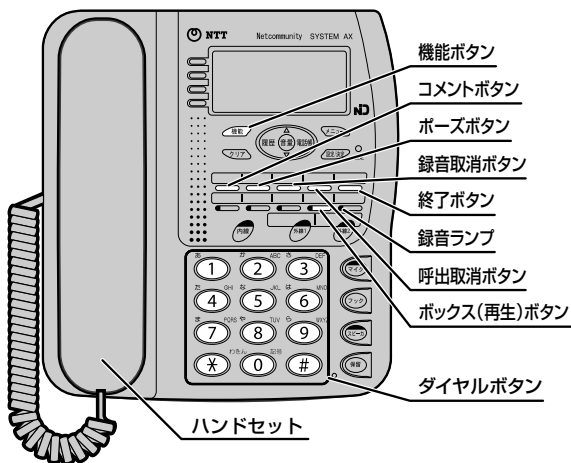
1 お話しの録音中または一時停止中に、コメントボタンまたは、機能ボタンに続けて音声メールコメント付加の特番 ($\text{GH}9$ $\text{GH}4$ []) を押します。

コメントボタンまたは、機能ボタンに続けて 音声メールコメント付加の特番 ($\text{GH}9$ $\text{GH}4$ []) を押すと、相手の方との通話が切れ、通話録音が終了します。

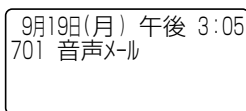
<例> コメントボタンを押した場合



コメントを録音します。コメントをどうぞ。ピーツ。



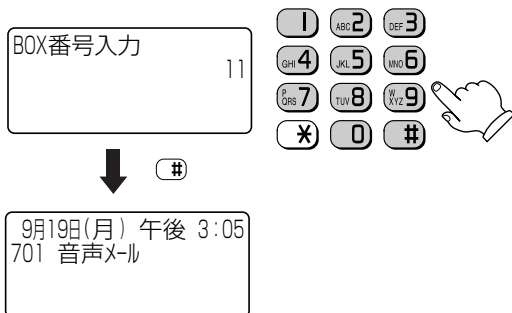
2 コメントをお話してください。



3 送信先のボックス番号をダイヤルボタンで押し、続けて (#) を押します。

ボックス番号と (#) を押ししている間もコメント録音は続いています。

<例> 送信先のボックス番号が11の場合



送信先のボックスに対応するボックス (再生) ボタンを押して、送信先を指定することもできます。送信先を間違えた場合は、手順3の操作をやり直します。

4 コメントを話し終わったら、ハンドセットを置きます。



ワンポイント

● 録音を一時停止するには

一時停止中は、録音ランプがゆっくり点滅します。

- 録音中に (✕) またはポーズボタンを押します。
- 録音を再開するときは、もう一度 (✕) またはポーズボタンを押します。

● 録音を終了するには

コメント録音中または一時停止中にコメント録音を終了することができます。

押すボタン	録音終了後の状態
録音取消ボタン	コメント録音を取り消し、通話録音を保存して、終了します。
呼出取消ボタン	コメント録音と通話録音を保存し、終了します。着信通知 (P32) は行いません。
終了ボタン または (#)	コメント録音と通話録音を保存し、終了します。

- お話しの録音中に相手の方が先に電話を切ったときは自動的にコメント録音が始まります。コメント録音を行わないときは、そのままハンドセットを置いてください。
- 録音内容を他のボックスに送信しない場合
手順3を行わず、手順4へ進みます。



お知らせ

- 送信先を指定しない場合は、応答した内線電話機のボックスに録音内容が保存されます。
- 転送先の録音件数がいっぱい転送できないときは、「ブブブブ」 というエラー音が聞こえます。



▶ 最大録音時間は？ (P88)

1
前に
お使いになる

2
留守番電話と
して利用する

3
メッセージを
再生/送信する

4
お話しを録音
する

5
お待たせメッセ
ジを利用する

6
外出先から
操作する

7
ユーザ設定を
する

8
ご参考に

お待たせメッセージとは

外からの電話にすぐに出られないときなどに、音声メールからお待たせメッセージを流して出られるようになるまで待ってもらうことができます。

■手動お待たせメッセージ

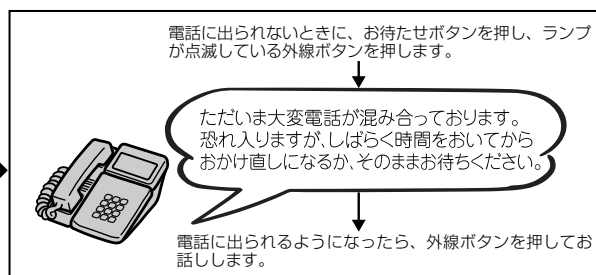
外の相手の方から電話がかかってきたときに、お待たせボタンを押してお待たせメッセージを流すことができます。(●P58)

相手の方には、下記のお待たせメッセージが流れます。お待たせメッセージは録音することができます。(●P74)

手動お待たせメッセージを利用する場合は、「システム設定」が必要です。



外の相手の方



お知らせ

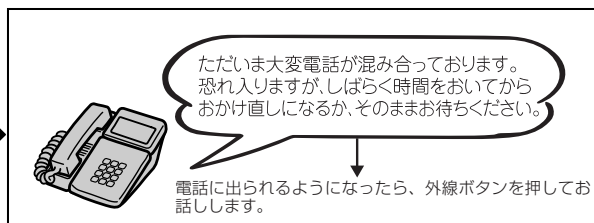
お買い求め時は、外線ボタンを押して電話に出るまで、または相手の方が電話を切るまで、相手の方にお待たせメッセージが流れるように設定されています。「システム設定」で設定した時間が経つと自動的に「ただいま大変電話が混み合っております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください」という切断メッセージを流して電話を切るようにすることもできます。切断メッセージは録音することもできます。(●P74)

■自動お待たせメッセージ

外の相手の方から電話がかかってきたときに、自動的にお待たせメッセージを流すことができます。相手の方には、下記のお待たせメッセージが流れます。お待たせメッセージは録音することができます。(P74) 自動お待たせメッセージを利用する場合は、「システム設定」が必要です。



外の相手の方



ただいま大変電話が混み合っております。
恐れ入りますが、しばらく時間を置いてから
おかけ直しになるか、そのままお待ちください。

電話に出られるようになったら、外線ボタンを押してお話します。



お知らせ

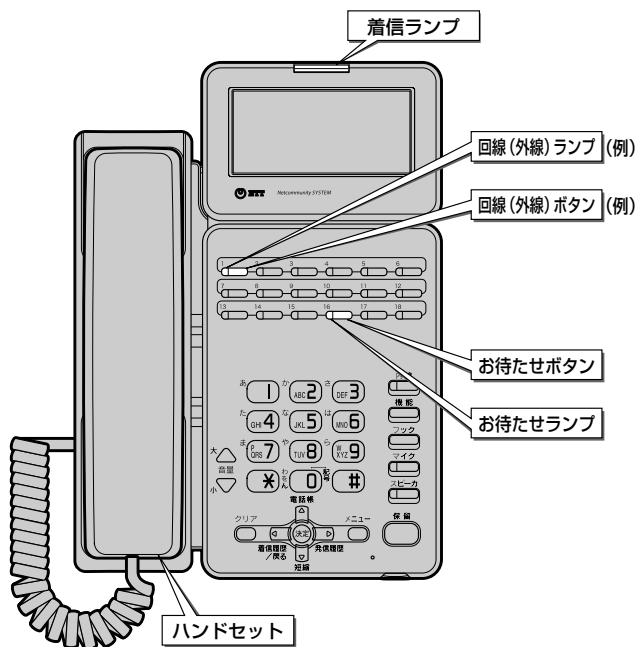
お買い求め時は、外線ボタンを押して電話に出るまで、または相手の方が電話を切るまで、相手の方にお待たせメッセージが流れるように設定されています。「システム設定」で設定した時間が経つと自動的に「ただいま大変電話が混み合っております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください」という切断メッセージを流して電話を切るようにすることもできます。切断メッセージは録音することもできます。(P74)



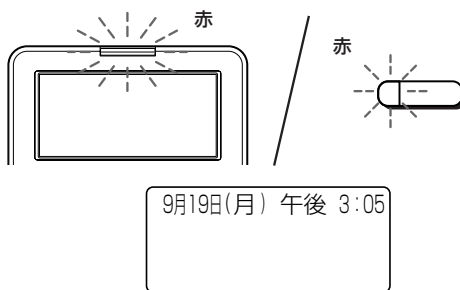
▶ 音声メールの録音・再生回路に空きがないときは？ (P88)

お待たせメッセージで応答するには

外の相手の方から電話がかかってきたときに、お待たせボタンを押してお待たせメッセージを流すことができます。



1 着信音が鳴り、着信ランプと外線ランプが点滅します。



2 お待たせボタンを押します。

お待たせランプが点灯します。



3 6秒以内にランプが点滅している外線ボタンを押します。

外の相手の方にはお待たせメッセージが流れます。



着信音が変わり、外の相手の方をお待たせしていることがわかります。

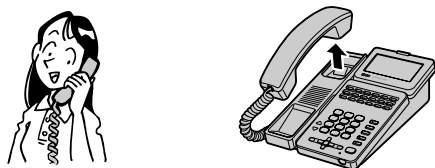
4 電話に出られるようになったら、外線ボタンを押します。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



5 ハンドセットを取りあげます。

外の相手の方とお話できるようになります。



6 お話が終わったら、ハンドセットを置きます。



ワンポイント

●着信ランプとは **αGX**
着信音が鳴り、呼び出されていることを赤く点滅してお知らせするランプです。

●お待たせメッセージの内容

お買い求め時は、次のメッセージが流れます。

＜お待たせメッセージ＞

「ただいま大変電話が混み合っております。恐れ入りますが、しばらく時間を置いてからおかけ直しになるか、そのままお待ちください。

自分の声でメッセージを録音することもできます。
(P74)

☑お待たせメッセージを流している間の着信音を変えるには
お待たせメッセージを流している間は、着信音が変わります。通常とは異なる着信音を流すことで、相手の方をお待たせしていることを忘れないようにすることができます。

ただし、お待たせメッセージを流している間に新しい着信があっても変更後の着信音のみまで、通常の着信音には戻りません。

お待たせメッセージを流している間の着信音は、「システム設定」により変更できます。

お知らせ

- 手順3の操作は、手順2でお待たせボタンを押したあと、6秒以内に行ってください。
- 「システム設定」により、電話がかかってきたときに、自動的にお待たせメッセージを流すことができます（自動お待たせメッセージ）。
- 「システム設定」により、お待たせメッセージが流れる時間を設定し、設定した時間が経つと自動的に切断メッセージを流して電話を切ることもできます。
- 「システム設定」で、外の相手の方をお待たせしているときの着信音を鳴らさないように設定できます。このとき、電話機から小さな「ブツブツ」という音が聞こえることがあります。
- 構内放送用のスピーカから流れる着信音は、着信音を変更している場合でも変わりません。
- 通常の着信音を、お待たせメッセージが流れている間の着信音と同じにした場合、お待たせメッセージが起動していることがわからなくなりますのでご注意ください。
- 音声メールの録音・再生回路に空きがないときは、お待たせメッセージを流す操作（手順2、3）をしてもお待たせメッセージは動作せず、着信音を変更している場合でも着信音は変わりません。

1
前に
お使いになる

2
として
留守番電話と
利用する

3
再生/送信する
メッセージを

4
する
お話しを録音

5
を利用する
お待たせメッセー

6
操作する
外出先から

7
する
ユーザ設定を

8
ご参考に

外出先からの操作について

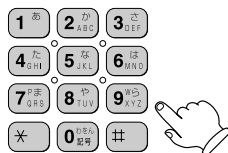
外出先から、または外のお客様などが音声メールへ電話をかけて、録音されている内容を聞いたり、内線電話機を直接呼び出したり、さまざまな操作を行うことができます。

1 外出先などから音声メールへ電話をかけます。



ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。内線呼出は1、外線発信は2、リモート設定は3、音声メールサービスは4をどうぞ。1~4のいずれかのサービス番号を押します。

2 ガイダンスに従って操作を行います。



3 操作が終わったら、電話を切ります。

STOP お願い

- 外出先から操作するときは、ダイヤルボタンをゆくりと確実に押してください。
- 携帯電話などでガイダンスやメッセージが聞こえている間に操作した場合は正常に動作しないことがありますので、ガイダンスやメッセージが終了してから操作してください。
- ガイダンスやメッセージが聞こえている間にダイヤルボタンを押す場合は、ガイダンスやメッセージが確実に止まるように、少し長めに押してください（電話機によってはできない場合があります）。

1
前に
お使いになる

2
留守番電話と
して利用する

3
メッセージを
再生／送信する

4
お話しを録音
する

5
お待たせメッセ
ージを利用する

6
外出先から
操作する

7
ユーザ設定を
する

8
ご参考に



ワンポイント

●音声メールへ電話をかけるときは

携帯電話またはプッシュ信号を送ることができる電話機をご利用ください。ダイヤル回線に接続されている電話機でもプッシュ信号を送る機能があれば音声メールを利用することができます。

●サービス番号を押してできる操作は

サービス番号を押してできる操作は次のとおりです。

サービス番号	操 作	操作概要	参照ページ
1 [※]	内線呼出	外から内線電話機を直接呼び出す	◀P64
2 [※]	外線発信	外から電話をかけて別の外線に発信する	◀P66
3 [※]	リモート設定	外から各種リモート設定を行う（留守番電話のセット／解除、転送電話のセット／解除など）	◀P68
4 [※]	音声メールサービス	外から録音内容を聞いたり、伝言を残したりする	◀P62



お知らせ

サービス番号を押してできる操作を「ダイヤリングサービス」と音声案内しています。

外出先などから録音内容を再生するには

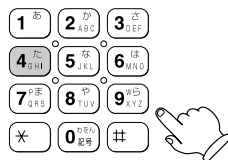
外出先の電話機からリモコン操作で録音内容を再生することができます。続けて、録音内容を消去したりすることができます。

1 外出先などから音声メールへ電話をかけます。



☎ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。内線呼出は1、外線発信は2、リモート設定は3、音声メールサービスは4をどうぞ。

2 **4**を押します。



☎録音は1、再生は2を押してください。

3 **2**を押します。



☎ボックス番号と#をどうぞ。

お知らせ

- 手順1でガイダンスが終了したあと、7秒以内に手順2の操作を行わなかった場合は、☎内線呼出は1、外線発信は2、リモート設定は3、音声メールサービスは4をどうぞ。というガイダンスが2回繰り返され、それでも手順2の操作を行わない場合は、自動的に電話が切れます。
- 手順6のメッセージ再生後にタイムスタンプ（録音日時）が再生されます。
☎××月××日××時××分のメッセージです。というガイダンスが聞こえます。
- メッセージ再生中に早送り／巻き戻しを行ったときは、4秒区切りで早送り／巻き戻しを行い、早送り／巻き戻し後、区切りの先頭から再生します。早送り／巻き戻しをする時間は「システム設定」により設定できます。
- メッセージの再生順序と再生対象は、「再生順序と再生対象について」（●P84）の「パターン1」固定です。

4 録音内容を再生するボックス番号をダイヤルボタンで押し、続けて#を押します。

<暗証番号が登録されているときは>

【<暗証番号と#をどうぞ。】

手順5へ進みます。



<暗証番号が登録されていないときは>

新しいメッセージがある場合：

【<新しいメッセージが××件あります。】

新しいメッセージがない場合：

【<保存メッセージが××件あります。】

手順6へ進みます。

メッセージがない場合：

【<メッセージはございません。ご利用ありがとうございました。】

というガイダンスのあとと電話が切れます。

5 暗証番号(1~4桁の数字)をダイヤルボタンで押し、続けて#を押します。

新しいメッセージがある場合：

【<新しいメッセージが××件あります。】

新しいメッセージがない場合：

【<保存メッセージが××件あります。】

メッセージがない場合：

【<メッセージはございません。ご利用ありがとうございました。】

というガイダンスのあとと電話が切れます。



6 メッセージの内容が聞こえます。

メッセージが順番に再生されます。



すべてのメッセージの再生が終了すると、

【<メッセージの再生を終了しました。保存メッセージの再生は1を押してください。】

7 操作が終わったら、電話を切ります。



ワンポイント

●暗証番号を間違えたときは

【<暗証番号が違います。もう一度暗証番号と#をどうぞ。】というガイダンスが聞こえます。もう一度、暗証番号と#を押してください。3回間違えると、自動的に電話が切れます。

●メッセージ再生中にできる操作

操 作	押すボタン	操作後の動作
前へ	1	1つ前のメッセージを再生する
繰返	2	再生中のメッセージを最初から再生する
次へ	3	次のメッセージを再生する
消去	4	再生中のメッセージを消去する
転送	5	再生中のメッセージを他のボックスに転送する
保護	6	再生中のメッセージを保護(自動消去禁止・全消去禁止)に設定する
巻戻し	7	メッセージを巻戻しする
早送り	9	メッセージを早送りする
停止	#	再生を停止し、下記のガイダンスが聞こえる ●新しいメッセージがある場合 【<メッセージの再生を終了しました。新しいメッセージの再生は1を押してください。】 ●新しいメッセージがない場合 【<メッセージの再生を終了しました。保存メッセージの再生は1を押してください。】
全消去	*	ボックス内のメッセージをすべて消去する(保護されたメッセージは消去されません)



▶「ボックス番号XXはただいま使用中です。」と聞こえたときは？ (P89)

1 お使いになる前に

2 留守番電話として利用する

3 メッセージを再生/送信する

4 お話しを録音する

5 お待たせメッセージを利用する

6 外出先から操作する

7 ユーザ設定をする

8 ご参考に

内線電話機を直接呼び出すには

外出先などから音声メールへ電話をかけて、直接内線電話機を呼び出すことができます（ダイヤルイン）。

1 外出先などから音声メールへ電話をかけます。



☎ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。内線呼出は1、外線発信は2、リモート設定は3、音声メールサービスは4をどうぞ。

2 1を押します。



☎内線番号をどうぞ。

3 相手の方の内線番号をダイヤルボタンで押します。

呼出音が聞こえます。



4 相手の方が出たら、お話しください。



5 お話しが終わったら、電話を切ります。



ワンポイント

●呼び出し先の内線電話機が一定時間応答しないときやお話し中のときにメッセージを録音できるようにするには「システム管理者」に設定されている内線電話機から設定します。

- ①内線ボタンを押す
- ②決定ボタンを押す
- ③話中／不応答時音声メール動作設定の特番（☎7）
☎7 []を押す
- ④録音できるように設定するときには を押し
お買い求め時は切断（）するように設定されています。
- ⑤スピーカボタンを押す



お知らせ

- 手順1でガイダンスが終了したあと、7秒以内に手順2の操作を行わなかった場合は、
☎内線呼出は1、外線発信は2、リモート設定は3、音声メールサービスは4をどうぞ。
というガイダンスが2回繰り返され、それでも手順2の操作を行わない場合は、自動的に電話が切れます。
- 手順3で、登録されていない内線番号を押した場合は、
☎内線番号××はございません。もう一度内線番号をどうぞ。
というガイダンスのあと3回未登録の内線番号を入力した場合は、
☎操作方法をお確かめのうえ、のちほどおかけ直してください。ご利用ありがとうございました。
というガイダンスのあと電話が切れます。
- 手順4で、呼び出している内線電話機が一定時間（※）応答しない場合や、お話し中などで呼び出せなかったときは、
☎内線番号XXは、ただいま席を外しております。
恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください。
というガイダンスのあと電話が切れます。
※ この時間は「システム設定」で変更できます。
- ステップコール（自グループ内の他の電話機を呼び出す）はできません。
- 「システム設定」により、手順1で外出先などから音声メールへ電話をかけると、
☎内線番号をどうぞ。
というガイダンスが聞こえ、手順3から操作することができます。

1
前に
お使いになる

2
留守
番電話と
して利用する

3
再生
メッセージを
送信する

4
お話しを
録音する

5
お待たせ
メッセージ
を利用する

6
外出先から
操作する

7
ユーザ
設定を
する

8
ご参考
に

外出先などから電話をかけて 別の外線に発信するには

外出先などから音声メールへ電話をかけて、別の外線に発信することができます。

1 外出先などから音声メールへ電話をかけます。



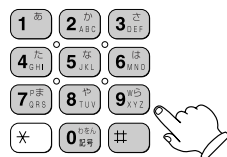
【ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。内線呼出は1、外線発信は2、リモート設定は3、音声メールサービスは4をどうぞ。

2 **2**を押します。



【内線番号と暗証番号と#をどうぞ。

3 内線番号と暗証番号をダイヤルボタンで押し、続けて**#**を押します。



【外線発信番号をどうぞ。

4 外線発信番号 (**0** []) を押して、「ツー」という外線発信音を確認してから、相手の方の電話番号をダイヤルボタンで押します。

呼出音が聞こえます。



5 相手の方が出たら、お話しください。



6 お話しが終わったら、電話を切ります。

1
前に
お使いになる

2
留守番電話と
して利用する

3
メッセージを
再生／送信する

4
お話しを録音
する

5
お待たせメッセー
ジを利用する

6
外出先から
操作する

7
ユーザ設定を
する

8
ご参考に

お知らせ

- 手順1でガイダンスが終了したあと、7秒以内に手順2の操作を行わなかった場合は、
【内線呼出は1、外線発信は2、リモート設定は3、音声メールサービスは4をどうぞ。
というガイダンスが2回繰り返され、それでも手順2の操作を行わない場合は、自動的に電話が切れます。
- 外出先で使用する携帯電話などの番号を共通電話帳に登録し、共通電話帳グループの着信先を自動応答サービスに設定している場合は、手順3の操作を省略することができます。詳しくは当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。
- 「システム設定」で「自動応答サービス外線発信用暗証番号」を設定している場合は、手順3で、内線番号と暗証番号の代わりに自動応答サービス外線発信用暗証番号を使用することができます。
- 手順5で、呼び出している相手の方が一定時間（※）応答しない場合や、お話し中などで呼び出せなかったときは、「プープー…」という話中音が聞こえます。
※ この時間は「システム設定」で変更できます。

リモート設定を行うには

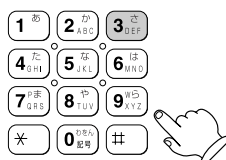
外出先などから音声メールへ電話をかけて、各種機能を設定することができます。

1 外出先などから音声メールへ電話をかけます。



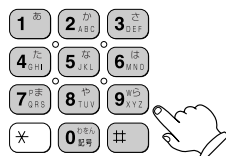
☞ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。内線呼出は1、外線発信は2、リモート設定は3、音声メールサービスは4をどうぞ。

2 3を押します。



☞リモート設定を行います。内線番号と暗証番号と#をどうぞ。

3 内線番号と暗証番号をダイヤルボタンで押し、続けて#を押します。



☞リモート設定アクセス番号をどうぞ。

4 リモート設定アクセス番号をダイヤルボタンで押します。



ガイドランスに従って操作します。リモート設定アクセス番号については「リモート設定一覧」(P69)を参照してください。

5 リモート設定が終わったら、電話を切ります。

お知らせ

- 手順1でガイドランスが終了したあと、7秒以内に手順2の操作を行わなかった場合は、☞内線呼出は1、外線発信は2、リモート設定は3、音声メールサービスは4をどうぞ。というガイドランスが2回繰り返され、それでも手順2の操作を行わない場合は、自動的に電話が切れます。
- 外出先で使用する携帯電話などの番号を共通電話帳に登録し、共通電話帳グループの着信先を自動応答サービスに設定している場合は、手順3の操作を省略することができます。詳しくは当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

1
前に
お
使
い
に
な
る

2
し
て
利
用
す
る

3
再
生
/
送
信
す
る

4
お
話
し
を
録
音
す
る

5
お
待
た
せ
メ
ッ
セ
ー
ジ
を
利
用
す
る

6
外
出
先
か
ら
操
作
す
る

7
ユ
ー
ザ
設
定
を
す
る

8
ご
参
考
に

リモート設定一覧

リモート設定について、詳しくはネットコミュニティシステム αGX typeS/typeMの取扱説明書を参照してください。

操 作		使用する特番操作例とガイダンス
留守番電話／転送電話の操作	留守番電話のセット (※1)	6 (R) 7 (R) 0 (D) [] 留守番電話を設定しました。
	転送電話のセット (※1)	6 (R) 7 (R) 1 (R) [] 転送電話を設定しました。
	留守番電話と転送電話 の解除 (※1) (※3)	6 (R) 7 (R) 2 (P) [] 留守番電話または転送電話を解除しました。
	電話機起動転送先リス トの登録 (※1)	6 (R) 7 (R) 3 (R) [] + 1 (R) ~ 3 (R) (R) + 転送先電話番号 (R) X番目の転送先に電話番号XXXX…を登録しました。
	電話機起動転送先リス トの削除 (※1)	6 (R) 7 (R) 4 (R) [] + 1 (R) ~ 3 (R) (R) X番目の転送先を削除しました。
	留守番電話の応答メッ セージの選択 (※1)	6 (R) 7 (R) 5 (R) [] + 0 (R) または 1 (R) (R) (0：応答専用、1：録音用) 留守番電話の応答メッセージをXに選択しました。
	システム共通の転送先 リストの登録 (※2)	6 (R) 7 (R) 6 (R) [] + 0 (R) 1 (R) ~ 2 (P) 0 (R) (R) + 1 (R) ~ 3 (R) (R) + 転送先電話番号 (R) リスト番号XXのX番目を電話番号XXXX…で登録しました。
	システム共通の転送先 リストの削除 (※2)	6 (R) 7 (R) 7 (R) [] + 0 (R) 1 (R) ~ 2 (P) 0 (R) (R) + 1 (R) ~ 3 (R) (R) リスト番号XXのX番目を削除しました。
	圏外時サービス設定	6 (R) 7 (R) 8 (R) [] + 0 (R) (R) (解除) / 1 (R) (R) (転送電話) / 2 (R) (R) (留守番電話)
システムモードの 切り替え (※2)	システムモードの解除 (自動モードへの切り替 え)	9 (R) 4 (R) 0 (R) [] システムモードの設定を解除しました。
	昼モードへの切り替え	9 (R) 4 (R) 1 (R) [] システムモードを昼モードに設定しました。
	夜モードへの切り替え	9 (R) 4 (R) 2 (R) [] システムモードを夜モードに設定しました。
	休憩モードへの切り替 え	9 (R) 4 (R) 3 (R) [] システムモードを休憩モードに設定しました。
	休日モードへの切り替 え	9 (R) 4 (R) 4 (R) [] システムモードを休日モードに設定しました。
セキュリティ サービス	起動	6 (R) 7 (R) 9 (R) [] + 1 (R) (R)
	解除	6 (R) 7 (R) 9 (R) [] + 0 (R) (R) + セキュリティ暗証番号 + (R)

※1 内線番号と暗証番号が必要です。

※2 「システム管理者」に設定された内線電話機の内線番号と暗証番号をダイヤルしたときのみ操作を行えます。

※3 留守番電話と転送電話の両方をセットしている場合は、どちらも解除されます。

ユーザ設定によりご利用になれる機能

音声メールには、お客様が登録・設定できるさまざまな機能があります。

登録・設定できる機能は次のとおりです。

特番設定は、内線ボタンを押して、決定ボタンを押したあと、それぞれの特番を押して操作します。

メニュー設定または機能番号により設定する項目

ユーザ設定の項目	機能番号 (参照ページ)		内 容
	メニュー設定時	特番設定時	
留守番電話の応答メッセージを設定する	[1] [4] [2] (P72)	[7] [0] [] (P73)	留守番電話 (P22) の応答メッセージを録音／確認／選択します。
留守番電話を応答専用を設定する	[1] [4] [3] (P82)	[7] [6] [] (P82)	留守番電話 (P22) で、メッセージを録音しないで応答メッセージだけを流すように設定します。
メッセージの再生順序を設定する	[1] [4] [5] (P86)	—	メッセージの再生順序を新しい順／古い順のどちらにするか設定します。
新しいメッセージを優先して再生する	[1] [4] [6] (P87)	—	新しいメッセージと保存メッセージの両方がある場合の再生対象を設定します。新しいメッセージのみ先に再生する／保存メッセージも再生するのどちらかに設定できます。
暗証番号を登録する	[1] [9] [2] (P20)	[1] [2] [] (P21)	電話機ごとの暗証番号を登録します。
自動通話録音／手動通話録音を切り替える	[1] [9] [4] (P53)	[9] [2] [] (P53)	通話録音の開始を自動／手動のどちらにするか設定します。
FAX／電話切替メッセージを設定する	[2] [6] [8] (P76)	[7] [4] [] (P77)	FAX／電話切替 (ネットコミュニティシステム αGX typeS/typeM取扱説明書参照) のときに使用するメッセージを録音／確認／選択します。 「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。
留守番電話の応答時間を設定する	[2] [8] [2] (P80)	[3] [0] [] (P81)	電話がかかってきたとき、留守番電話が応答するまでの時間を設定します。 「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。
システム留守番電話の応答メッセージを設定する	[2] [8] [6] (P78)	[7] [1] [] (P79)	システム留守番電話 (P36) の応答メッセージを録音／確認／選択します。 「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。
システム留守番電話を応答専用を設定する	[2] [8] [7] (P83)	[7] [8] [] (P83)	システム留守番電話 (P36) で、メッセージを録音しないで応答メッセージだけを流すように設定します。 「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。
お待たせメッセージの応答メッセージを設定する	[2] [8] [8] (P74)	[7] [3] [] (P75)	お待たせメッセージ (P56) の応答メッセージを録音／確認／選択します。 「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。

1
前に
お使いになる

2
として
利用する
留守番電話と

3
再生/送信する
メッセージを

4
する
お話しを録音

5
を利用する
お待たせメッセー

6
操作する
外出先から

7
する
ユーザ設定を

8
ご参考に

ユーザ設定の項目	機能番号 (参照ページ)		内容
	メニュー設定時	特番設定時	
お買い求め時の状態に戻す (録音した内容や応答メッセージをすべて消去する)	—	☎4 (P4) [] (☎P90)	応答メッセージや録音した内容を消去して、お買い求め時の状態に戻します。 「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。
外出先からの操作の内線呼び出しで、内線電話機がお話し中のときや応答しなかったときに、メッセージを録音するように設定する	—	☎7 (P7) [] (☎P65)	外出先からの操作の内線呼び出しで、内線電話機がお話し中のときや応答しなかったときに、メッセージを録音するように設定します。 「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。
自動通話録音で保存操作をしなかったときの録音内容を保存する	—	☎8 (P8) [] (☎P49)	自動通話録音 (☎P48) で保存操作をしなかったとき、録音内容を保存することができます。
着信通知先の電話番号を登録する	—	☎9 (P9) [] (☎P34)	ボックスにメッセージが録音されたことを外出先の電話機にお知らせするときの電話番号を登録します。 「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。
着信通知するかどうかを設定する	—	☎9 (P9) [] (☎P35)	ボックスにメッセージが録音されたことを外出先の電話機にお知らせするかどうかを設定します。



お知らせ

デジタルシステムコードレス電話機をご利用になる場合は、特番設定でのみ登録・設定できます。

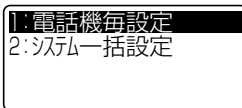
留守番電話の応答メッセージを設定するには

留守番電話（☎P22）で使用する応答メッセージを選択したり、録音したりできます。

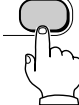
応答メッセージを録音する

1 ハンドセットを置いたまま、メニューボタンを押します。

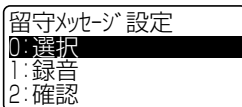
メインメニューが表示されます。



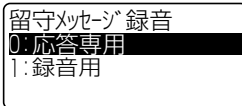
メニュー



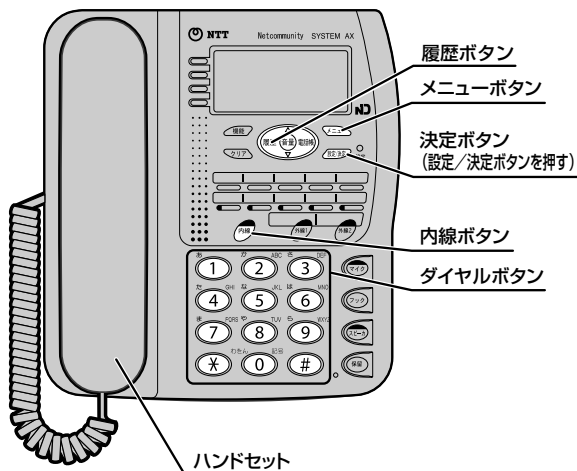
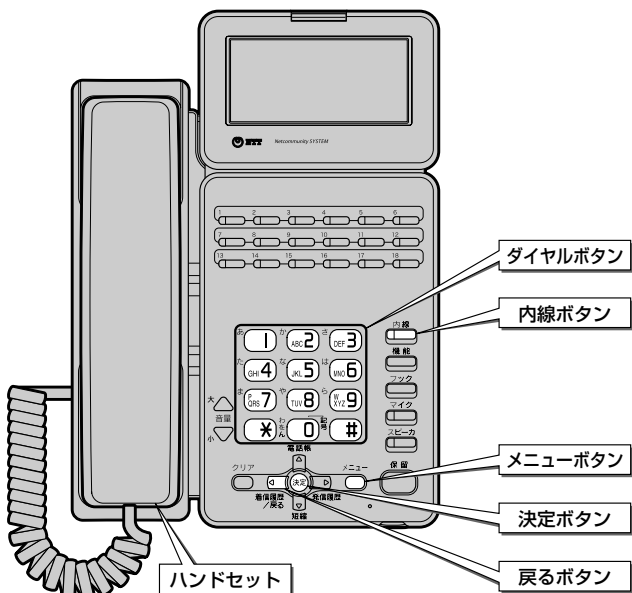
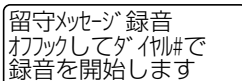
2 1 GH4 ABC2 を押します。



3 1 を押します。



4 応答専用を録音するときは 0、録音用を録音するときは 1 を押します。



お知らせ

- 新たに応答メッセージを録音すると、前に録音していた応答メッセージは消去されます。
- 応答メッセージの最大録音時間は約3分です。
- 録音中に最大録音時間をオーバーすると、録音は自動的に終了します。

1
前に
お使いになる

2
留守番電話と
して利用する

3
メッセージを
再生/送信する

4
お話しを録音
する

5
お待たせメッセ
ージを利用する

6
外出先から
操作する

7
ユーザ設定を
する

8
ご参考に

5 ハンドセットを取りあげます。



6 **#** を押し、「ピー」音が終了したあとに 応答メッセージをお話してください。



ワンポイント

● 応答メッセージを選択するには

- ① 手順1~2を行う
- ② **0** を押す
- ③ 応答専用は **0**、録音用は **1** を押す
- ④ お買い求め時の応答メッセージにすることは **0**、録音した応答メッセージにすることは **1** を押す

● 選択されている応答メッセージを確認するには

- ① 手順1~2を行う
- ② **2** を押す
- ③ 応答専用を確認するときは **0**、録音用を確認するときは **1** を押す
選択されている応答メッセージが再生されます。

● 録音した応答メッセージを消去するには 応答メッセージを初期化します。(P90)

● 特番で留守番電話の応答メッセージを設定するには

- 次の手順で応答メッセージの選択/録音/確認を行うことができます。
- ① 内線ボタンを押す
 - ② 決定ボタンを押す
 - ③ 留守番電話の応答メッセージ設定の特番 (**7** **0** []) を押す
 - ④ 応答メッセージ選択/録音/確認の操作を行う

7 応答メッセージを話し終えたら **#** を押します。

「ピッピッ」という確認音が聞こえます。

録音終了
オフックしてください



8 ハンドセットを置きます。

留守メッセージ設定
0: 選択
1: 録音
2: 確認



戻るボタンを長く (AX電話機では履歴ボタンを繰り返して) 押し、待機画面に戻ります。

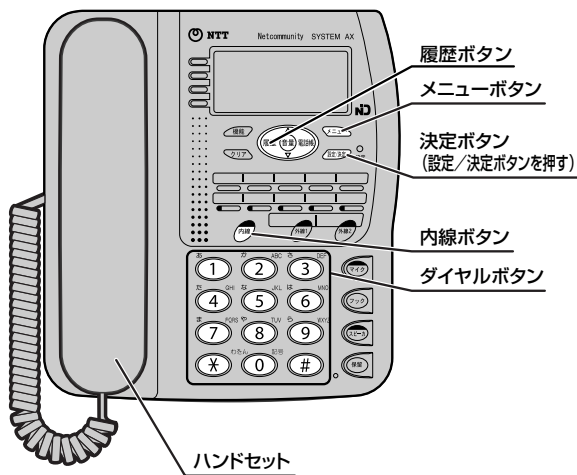
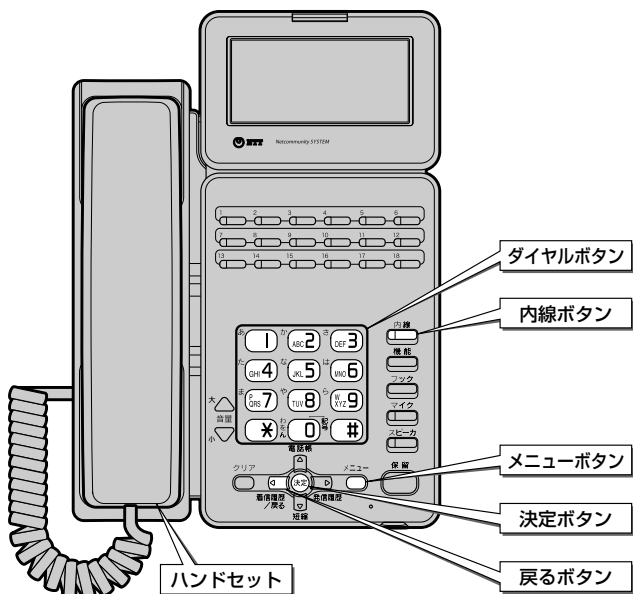


▶ 設定した内容で留守番電話の応答メッセージが流れないときは? (P88)

▶ 音声メールの録音・再生回路に空きがないときは? (P88)

お待たせメッセージを設定するには

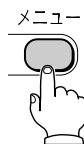
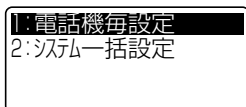
お待たせメッセージ（P56）を選択したり、録音したりできます。お待たせメッセージの設定は、「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。



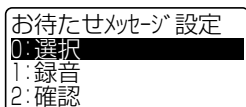
お待たせメッセージを録音する

1 ハンドセットを置いたまま、メニューボタンを押します。

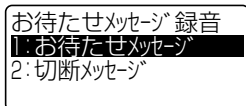
メインメニューが表示されます。



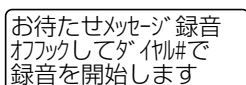
2 2 8 8 を押します。



3 1 を押します。



4 お待たせメッセージを録音するときは 1、切断メッセージを録音するときは 2 を押します。



5 ハンドセットを取りあげます。



6 # を押し、「ピー」音が終了したあとにお待たせメッセージをお話してください。



7 お待たせメッセージを話し終えたら # を押します。

「ピッピッ」という確認音が聞こえます。

録音終了
オフックしてください



8 ハンドセットを置きます。

お待たせメッセージ設定
0: 選択
1: 録音
2: 確認



戻るボタンを長く（AX電話機では履歴ボタンを繰り返し）押し、待機画面に戻ります。



ワンポイント

● お待たせメッセージを選択するには

- ① 手順1～2を行う
- ② **[0]** を押す
- ③ お待たせメッセージは **[1]**、切断メッセージは **[2]** を押す
- ④ お買い求め時のお待たせメッセージにするときは **[0]**、録音したお待たせメッセージにするときは **[1]** を押す

● 選択されているお待たせメッセージを確認するには

- ① 手順1～2を行う
- ② **[2]** を押す
- ③ お待たせメッセージを確認するときは **[1]**、切断メッセージを確認するときは **[2]** を押す
選択されている応答メッセージが再生されます。

● 録音したお待たせメッセージを消去するには 応答メッセージを初期化します。（☛P90）

● 特番でお待たせメッセージを設定するには

次の手順でお待たせメッセージの選択／録音／確認を行うことができます。「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。

- ① 内線ボタンを押す
- ② 決定ボタンを押す
- ③ お待たせメッセージ設定の特番（**[7]** **[3]** []）を押す
- ④ お待たせメッセージ選択／録音／確認の操作を行う



お知らせ

- 新たにお待たせメッセージを録音すると、前に録音していたお待たせメッセージは消去されます。
- お待たせメッセージの最大録音時間は約3分です。
- 録音中に最大録音時間をオーバーすると、録音は自動的に終了します。
- 手順4で選択する「切断メッセージ」とは、「システム設定」でお待たせメッセージが流れる時間を設定した場合に、設定した時間が経つと自動的に流れる切断メッセージのことです。
お買い求め時は、次のメッセージが流れます。
【< たいだい大変電話が混み合っております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください。】



▶ 音声メールの録音・再生回路に空きがないときは？（☛P88）

1
前に
お使いになる

2
留守
番電話と
して利用する

3
再生
／送信する
メッセージを

4
お話しを録音する

5
お待たせメッセージを利用する

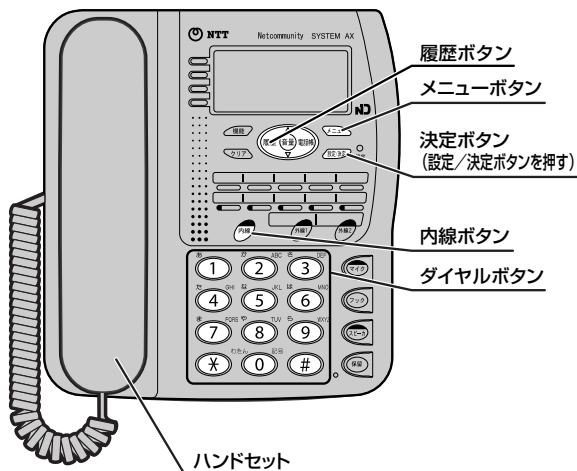
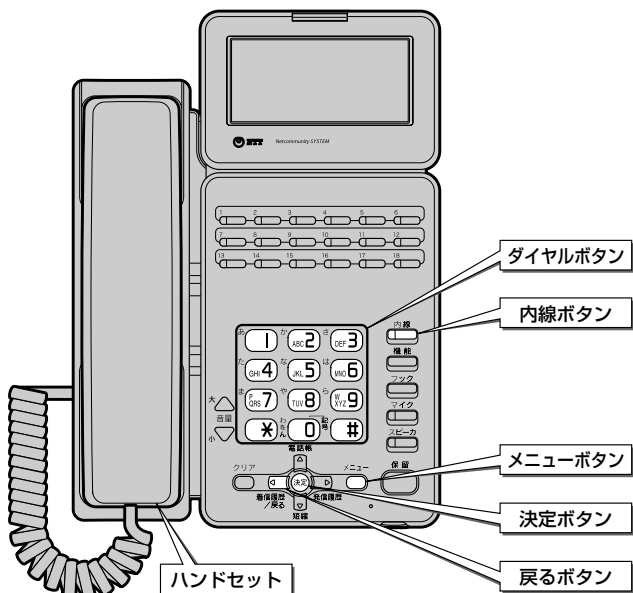
6
外出先から操作する

7
ユーザ設定をする

8
ご参考に

FAX／電話切替メッセージを設定するには

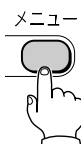
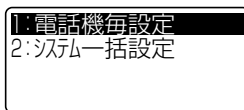
FAX／電話切替（ネットコミュニティシステム αGX typeS/typeM取扱説明書参照）のときに使用するメッセージを録音します。FAX／電話切替メッセージの録音は、「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。



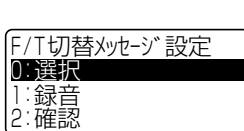
切替メッセージを録音する

1 ハンドセットを置いたまま、メニューボタンを押します。

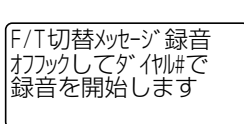
メインメニューが表示されます。



2 2 (ABC) 6 (MNO) 8 (TUV) を押します。



3 1 を押します。



4 ハンドセットを取りあげます。



お知らせ

- 新たに切替メッセージを録音すると、前に録音していた切替メッセージは消去されます。
- FAX／電話切替メッセージの最大録音時間は約3分です。
- 録音中に最大録音時間をオーバーすると、録音は自動的に終了します。

1
前に
お使いになる

2
して
留守番電話と
利用する

3
再生／送信する
メッセージを

4
お話しを録音
する

5
お待たせメッセー
ジを利用する

6
外出先から
操作する

7
ユーザー設定を
する

8
ご参考に

5 # を押し、「ピー」音が終了したあとに切替メッセージをお話してください。



6 切替メッセージを話し終わったら # を押します。

「ピッピッ」という確認音が聞こえます。

録音終了
オフックしてください



7 ハンドセットを置きます。

F/T切替メッセ-ジ 設定
0: 選択
1: 録音
2: 確認



戻るボタンを長く（AX電話機では履歴ボタンを繰り返し）押し、待機画面に戻ります。

ワンポイント

●切替メッセージを選択するには

- ① 手順1～2を行う
- ② **0** を押す
- ③ お買い求め時の切替メッセージにするときは **0**、録音した切替メッセージにするときは **1** を押す

●選択されている切替メッセージを確認するには

- ① 手順1～2を行う
- ② **2** を押す
選択されている切替メッセージが再生されます。

●録音した切替メッセージを消去するには

応答メッセージを初期化します。（P90）

●特番でFAX／電話切替メッセージを設定するには

次の手順でお待たせメッセージの選択／録音／確認を行うことができます。

「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。

- ① 内線ボタンを押す
- ② 決定ボタンを押す
- ③ FAX／電話切替メッセージ設定の特番（**7** **4** []）を押す
- ④ 切替メッセージ選択／録音／確認の操作を行う



▶ 音声メールの録音・再生回路に空きがないときは？（P88）

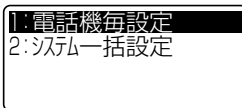
システム留守番電話の応答メッセージを設定するには

システム留守番電話（P36）の応答メッセージを選択したり、録音したりできます。応答メッセージの設定は、「システム管理者」に設定されてる内線電話機からのみ行えます。

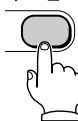
応答メッセージを録音する

1 ハンドセットを置いたまま、メニューボタンを押します。

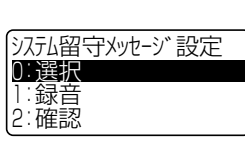
メインメニューが表示されます。



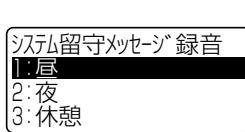
メニュー



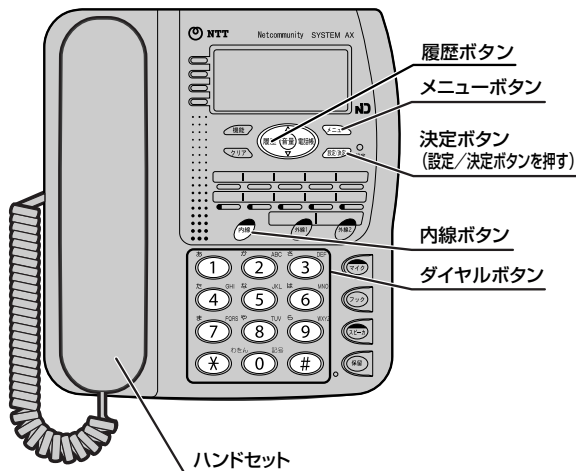
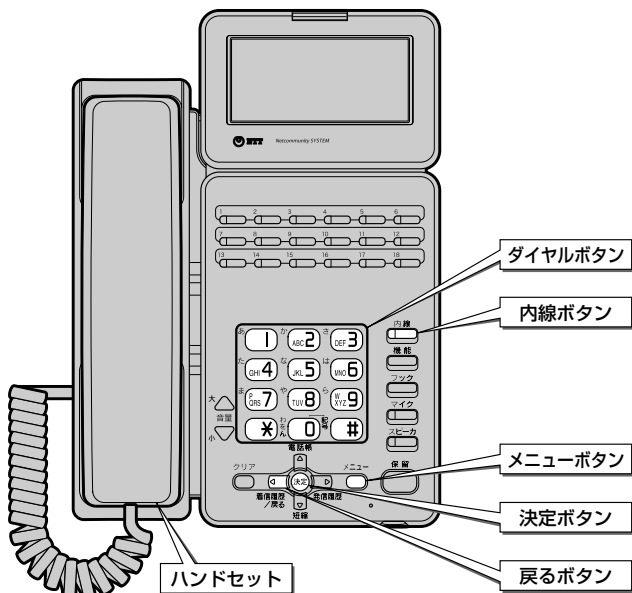
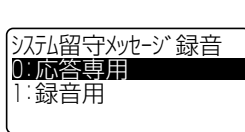
2 ABC 2 TUV 8 MNO 6 を押します。



3 1 を押します。



4 録音したいシステムモードが昼モードのときは 1、夜モードのときは ABC 2、休憩モードのときは DEF 3、休日モードのときは GHI 4 を押します。



お知らせ

- 新たに応答メッセージを録音すると、前に録音していた応答メッセージは消去されます。
- 応答メッセージの最大録音時間は約3分です。
- 録音中に最大録音時間をオーバーすると、録音は自動的に終了します。

5 応答専用を録音するときは **0**、録音用を録音するときは **1** を押します。

システム留守メッセージ録音
オフックしてダイヤル#で
録音を開始します



6 ハンドセットを取りあげます。



7 **#** を押し、「ピー」音が終了したあとに 応答メッセージをお話しく ださい。



8 応答メッセージを話し終えたら **#** を押します。

「ピッピッ」という確認音が聞こえます。

録音終了
オフックしてください



9 ハンドセットを置きます。

システム留守メッセージ設定
0: 選択
1: 録音
2: 確認



戻るボタンを長く（AX電話機では履歴ボタンを繰り返し）押して、待機画面に戻ります。

ワンポイント

- 応答メッセージを選択するには
 - ① 手順1~2を行う
 - ② **0** を押す
 - ③ 選択したいシステムモードが昼モードのときは **1**、夜モードのときは **2**、休憩モードのときは **3**、休日モードのときは **4** を押す
 - ④ 応答専用は **0**、録音用は **1** を押す
 - ⑤ お買い求め時の応答メッセージにするときは **0**、録音した応答メッセージにするときは **1** を押す

- 選択されている応答メッセージを確認するには
 - ① 手順1~2を行う
 - ② **2** を押す
 - ③ 確認したいシステムモードが昼モードのときは **1**、夜モードのときは **2**、休憩モードのときは **3**、休日モードのときは **4** を押す
 - ④ 応答専用を確認するときは **0**、録音用を確認するときは **1** を押す
 選択されている応答メッセージが再生されます。

- 録音した応答メッセージを消去するには
応答メッセージを初期化します。(P90)
- 特番でシステム留守番電話の応答メッセージを設定するには
次の手順で応答メッセージの選択/録音/確認を行うことができます。
「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。
 - ① 内線ボタンを押す
 - ② 決定ボタンを押す
 - ③ システム留守メッセージ設定の特番（**7** **1** []）を押す
 - ④ 応答メッセージ選択/録音/確認の操作を行う



▶ 設定した内容で留守番電話の応答メッセージが流れないときは？ (P88)

▶ 音声メールの録音・再生回路に空きがないときは？ (P88)

1 お使いになる前に

2 留守番電話として利用する

3 メッセージを再生/送信する

4 お話しを録音する

5 お待たせメッセージを利用する

6 外出先から操作する

7 ユーザー設定をする

8 ご参考に

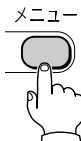
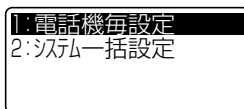
留守番電話の応答時間を設定するには (留守／転送開始タイマ)

電話がかかってきたときに、留守番電話が応答するまでの時間を設定します。留守／転送開始タイマの設定は「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。



1 ハンドセットを置いたまま、メニューボタンを押します。

メインメニューが表示されます。



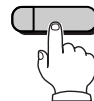
2 ABC 2 (TUV 8) ABC 2 を押します。

留守/転送開始タイマ
外線ボタンを押下してください



3 留守番電話対象の外線ボタンを押します。

留守/転送開始タイマ
タイマ(0~255)秒?
0: 即時転送/即時応答



4 留守/転送開始タイマ(0~255秒)をダイヤルボタンで押します。

XXXには、設定した時間(秒)が表示されます。

留守/転送開始タイマ
タイマ(0~255)秒?
0: 即時転送/即時応答



5 決定ボタンを押します。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、留守番電話の応答時間が設定されます。

複数の回線を設定するときは、手順3～5を繰り返します。



戻るボタンを長く（AX電話機では履歴ボタンを繰り返し）押して、待機画面に戻ります。

1
前に
お使いになる

2
留守番電話と
して利用する

3
メッセージを
再生／送信する

4
お話しを録音
する

5
お待たせメッセ
ージを利用する

6
外出先から
操作する

7
ユーザー設定を
する

8
ご参考に



ワンポイント

- 特番で留守／転送開始タイマを設定するには
次の手順で留守／転送開始タイマを設定することができます。
- ① 内線ボタンを押す
- ② 決定ボタンを押す
- ③ 留守／転送開始タイマの特番（☎ 0 []）を押す
- ④ 留守番電話対象の外線ボタンを押す
- ⑤ 留守／転送開始タイマ（0～255秒）をダイヤルボタンで押す
- ⑥ 決定ボタンを押す
複数の回線を設定するときは、手順④～⑥を繰り返します。
- ⑦ スピーカボタンを押す



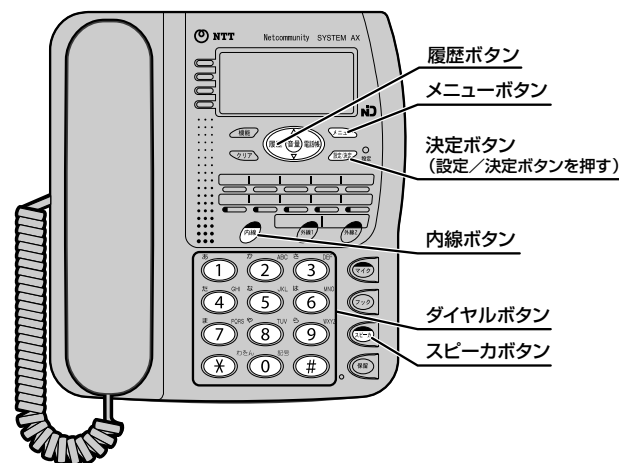
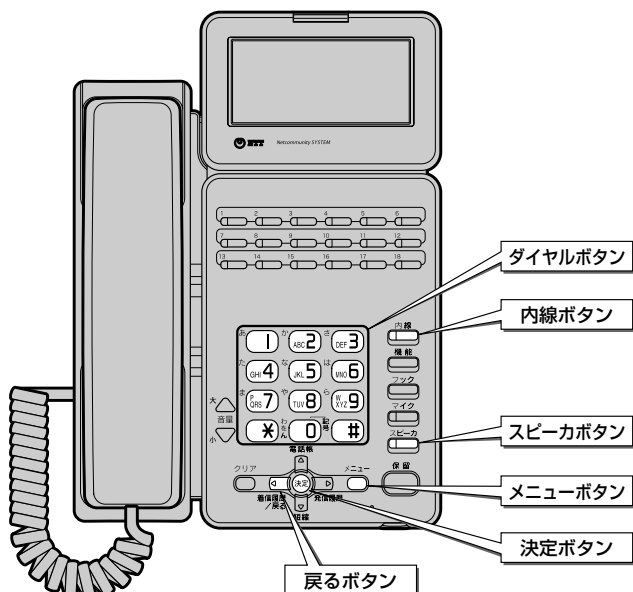
お知らせ

留守／転送開始タイマに「0」を指定すると、着信音を鳴らさずにすぐに留守応答します。お買い求め時は「0」（即時転送／即時応答）に設定されています。

留守番電話を応答専用を設定するには

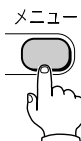
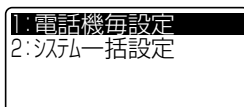
留守番電話をセットしたとき、メッセージを録音しないで応答メッセージだけを流すように設定することができます。

お買い求め時は「録音用」（メッセージを録音する）に設定されています。

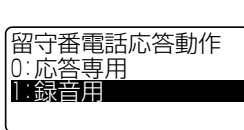


1 ハンドセットを置いたまま、メニューボタンを押します。

メインメニューが表示されます。



2 1 GH4 DEF3 を押します。



3 0 を押します。

「録音用」（メッセージを録音する）に設定する場合は 1 を押します。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、留守番電話応答動作設定が変更されます。



戻るボタンを長く（AX電話機では履歴ボタンを繰り返して）押し、待機画面に戻ります。



ワンポイント

● 特番で留守番電話を応答専用を設定するには

- ① 内線ボタンを押す
- ② 決定ボタンを押す
- ③ 留守番電話応答動作設定の特番 (6 7) (6 6) [] を押す
- ④ 0 を押す
- ⑤ スピーカボタンを押す



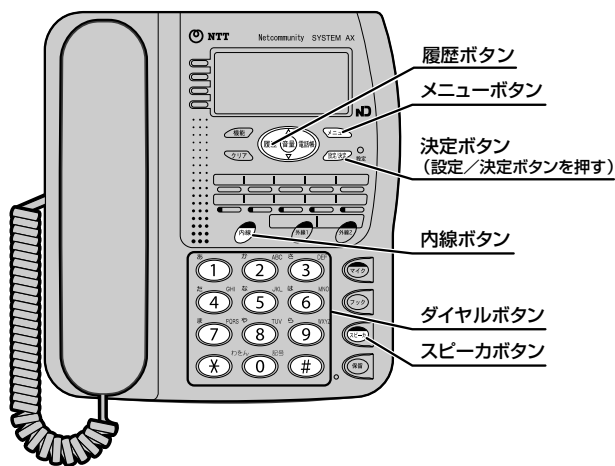
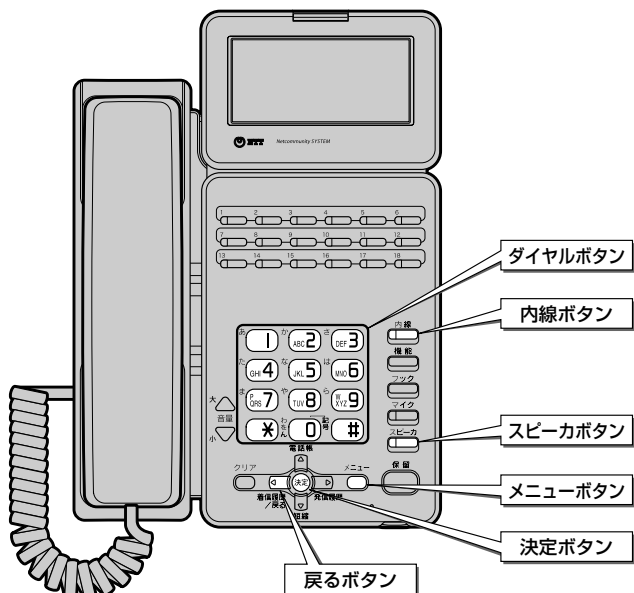
▶ 設定した内容で留守番電話の応答メッセージが流れないときは？ (P88)

システム留守番電話を応答専用を設定するには

システム留守番電話をセットしたとき、メッセージを録音しないで応答メッセージだけを流すように設定することができます。

「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。

お買い求め時は「録音用」（メッセージ録音する）に設定されています。



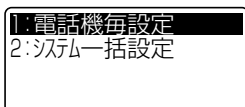
ワンポイント

●特番でシステム留守番電話を応答専用を設定するには
お買い求め時は、「録音用」（メッセージ録音する）に設定されています。「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。

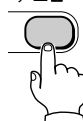
- ①内線ボタンを押す
- ②決定ボタンを押す
- ③システム留守番電話応答動作設定の特番（☎7 ☎8 []）を押す
- ④0 を押す
- ⑤スピーカボタンを押す

1 ハンドセットを置いたまま、メニューボタンを押します。

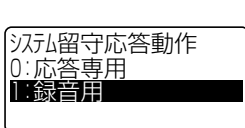
メインメニューが表示されます。



メニュー



2 ABC2 TUV8 CRS7 を押します。



3 0 を押します。

「録音用」（メッセージ録音する）に設定する場合は 0 を押します。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、システム留守番電話動作設定が変更されます。



戻るボタンを長く（AX電話機では履歴ボタンを繰り返し）押して、待機画面に戻ります。

1 お使いになる前に

2 留守番電話として利用する

3 メッセージを再生/送信する

4 お話しを録音する

5 お待たせメッセージを利用する

6 外出先から操作する

7 ユーザ設定をする

8 ご参考に



▶設定した内容で留守番電話の応答メッセージが流れないときは？（☎P88）

再生順序と再生対象について

内線電話機の操作でメッセージを聞くときの再生方法を、使いかたに合わせて変更できます。

「メッセージ再生順設定」では、録音順に再生するか、最新のメッセージから順に再生するかのどちらかを選択できます。

「新規メッセージ優先設定」では、新しいメッセージ（未再生）と保存メッセージ（再生済み）の両方があったときに、新しいメッセージの再生を優先させるかどうかを設定できます。

2つの設定によって、メッセージの再生方法は次の4通りのいずれかになります。

パターン1 (お買い求め時の状態)

メッセージ再生順設定 : 「古いメッセージ」

新規メッセージ優先設定 : 「優先する」

未再生、再生済みの両方があるときは**未再生のメッセージを、古→新の順に**



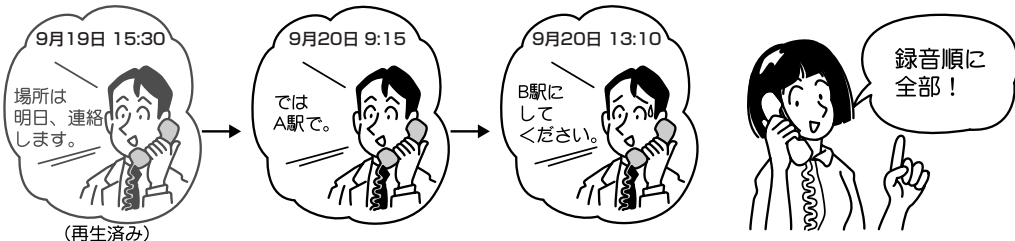
- 新しいメッセージ（未再生）しかないとき
: 未再生のメッセージを、古→新の順に
- 保存メッセージ（再生済み）しかないとき
: 再生済みのメッセージを、古→新の順に

パターン2

メッセージ再生順設定 : 「古いメッセージ」

新規メッセージ優先設定 : 「優先しない」

未再生、再生済みの両方があるときは**すべてのメッセージを、古→新の順に**



- 新しいメッセージ（未再生）しかないとき
: 未再生のメッセージを、古→新の順に
- 保存メッセージ（再生済み）しかないとき
: 再生済みのメッセージを、古→新の順に

1
前に
お使いになる

2
留守
番電話と
して利用する

3
再生/
送信する
メッセージを

4
お話しを録音
する

5
お待たせメッセー
ジを利用する

6
外出先から
操作する

7
ユーザー設定を
する

8
ご参考に

パターン3

メッセージ再生順設定 : 「新しいメッセージ」

新規メッセージ優先設定 : 「優先する」

未再生、再生済みの両方があるときは**未再生のメッセージを、新→古の順に**



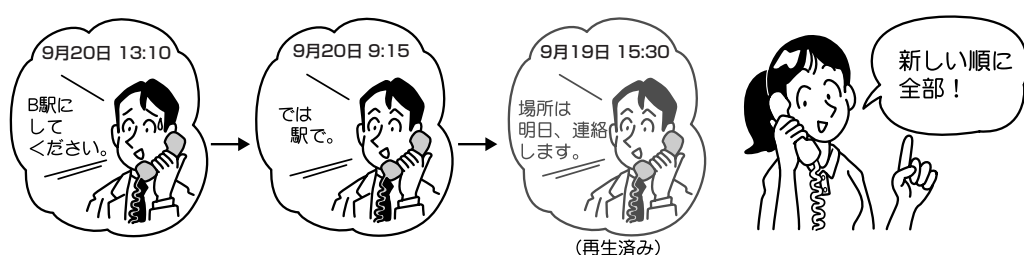
- 新しいメッセージ（未再生）しかないとき
: 未再生のメッセージを、新→古の順に
- 保存メッセージ（再生済み）しかないとき
: 再生済みのメッセージを、新→古の順に

パターン4

メッセージ再生順設定 : 「新しいメッセージ」

新規メッセージ優先設定 : 「優先しない」

未再生、再生済みの両方があるときは**すべてのメッセージを、新→古の順に**



- 新しいメッセージ（未再生）しかないとき
: 未再生のメッセージを、新→古の順に
- 保存メッセージ（再生済み）しかないとき
: 再生済みのメッセージを、新→古の順に



ワンポイント

- 新規メッセージ優先時に保存メッセージを聞くには
新規メッセージ優先設定を「優先する」に設定している場合も、新しいメッセージの再生が終了したあと **[1]** を押すことにより、保存メッセージを再生することができます。
新しいメッセージの再生が終了すると、下記のガイダンスが聞こえます。
[1] メッセージの再生を終了しました。保存メッセージの再生は1を押してください。
- メッセージ再生中にできる操作は
どのパターンで再生する場合でも、再生中のボタン操作により、1つ前や次のメッセージを再生したり、巻き戻し、早送りなどの操作をすることができます。(▶P39)

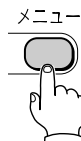
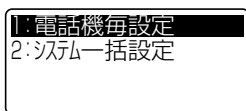
メッセージの再生について設定するには

メッセージの再生順序を設定する

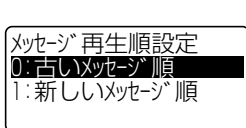
最新のメッセージから順に（新→古の順）再生するように設定することができます。
お買い求め時は、「古いメッセージ順」（古→新の順）に設定されています。

1 ハンドセットを置いたまま、メニューボタンを押します。

メインメニューが表示されます。



2 1 4 5 を押します。



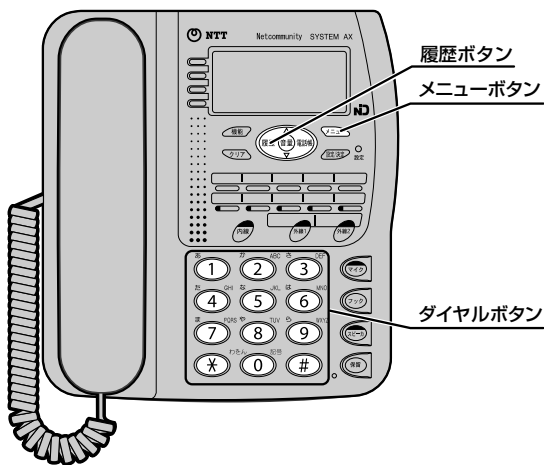
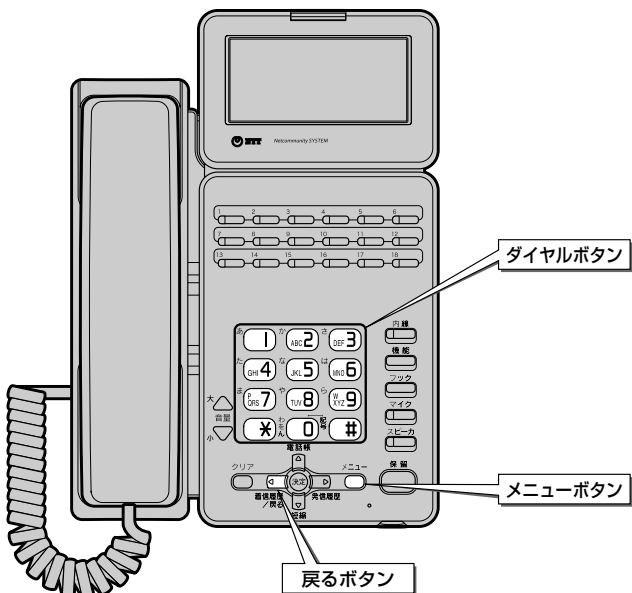
3 1 を押します。

「古いメッセージ順」（古→新の順）に設定する場合は 0 を押します。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、メッセージ再生順設定が変更されます。



戻るボタンを長く（AX電話機では履歴ボタンを繰り返し）押し、待機画面に戻ります。



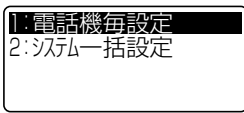
新しいメッセージを優先するかどうかを設定する

新しいメッセージと保存メッセージの両方がある場合に、すべてのメッセージをまとめて再生するように設定できます。

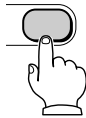
お買い求め時は、「優先する」（新しいメッセージのみ先に再生）に設定されています。

1 ハンドセットを置いたまま、メニューボタンを押します。

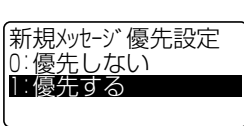
メインメニューが表示されます。



メニュー



2 1 4 6 を押します。



3 0 を押します。

「優先する」（新しいメッセージのみ先に再生）に設定する場合は 0 を押します。

「ピッピッ」という確認音が聞こえ、新規メッセージ優先設定が変更されます。



戻るボタンを長く（AX電話機では履歴ボタンを繰り返し）押して、待機画面に戻ります。

1
前に
お使いになる

2
留守番電話と
して利用する

3
メッセージを
再生/送信する

4
お話しを録音
する

5
お待たせメッセー
ジを利用する

6
外出先から
操作する

7
ユーザー設定を
する

8
ご参考に

「こんなことがしたい」などといった場合にお役にたつ便利な操作や、操作中の注意点などをテーマ別に質問形式でまとめています。

Q 最大録音時間は？

A 最大録音時間は「システム設定」で10秒～30分に設定できます。
お買い求め時は「3分」に設定されています。

Q 最大録音件数は？

A 最大録音件数は「システム設定」で1～255件または無制限に設定できます。
お買い求め時は「30件」に設定されています。

Q 録音メモリがいっぱいのときは？

A 録音メモリがいっぱいのときは、録音できなくなります。
留守番電話およびシステム留守番電話は応答専用になり、応答専用のメッセージに切り替わります。

Q 音声メールの録音・再生回路に空きがないときは？

A

- 留守番電話の場合は、録音・再生回路が空くまで、留守応答しません。
- 内線電話機から録音（伝言を残す）や再生を行う場合は、音声メールへ電話をかけたときに「ブーピー…」という話中音が聞こえます。
- 通話録音の場合は、エラー音が鳴り、録音できません。
- 応答メッセージ録音やFAX／電話切替メッセージ録音の場合は、録音できません。
- 手動お待たせ／自動お待たせとも動作せず、着信音が変わりません。

Q 設定した内容で留守番電話の応答メッセージが流れないときは？

A 留守番電話の応答メッセージの設定は、留守番電話またはシステム留守番電話の応答動作設定とメッセージ選択をすることにより有効となります。利用しているのが留守番電話かシステム留守番電話かをご確認のうえ、下記の設定を確認してください。

<留守番電話の場合>

「留守番電話の応答メッセージを設定するには」（☛P72）と、「留守番電話を応答専用を設定するには」（☛P82）の使用するメッセージの選択が一致しているかを確認してください。

<システム留守番電話の場合>

「システム留守番電話の応答メッセージを設定するには」（☛P78）と、「システム留守番電話を応答専用を設定するには」（☛P83）の使用するメッセージの選択が一致しているかを確認してください。

例) 留守番電話を「応答専用」として、自分で録音したメッセージが流れるようにします。

- ①留守番電話を「応答専用」に設定する
「留守番電話を応答専用を設定するには」（☛P82）で「0：応答専用」を選択します。
- ②応答専用のメッセージを自分で録音する
「応答メッセージを録音する」（☛P72）で「1：録音」→「0：応答専用」→メッセージを録音します。
- ③自分で録音した応答専用のメッセージを選択する
「応答メッセージを選択するには」（☛P73）で「0：選択」→「0：応答専用」→「1：録音メッセージ」を選択します。

1
前に
お使いになる

2
して利用する
留守番電話と

3
再生／送信する
メッセージを

4
する
お話しを録音

5
を利用する
お待たせメッセー

6
操作する
外出先から

7
する
ユーザ設定を

8
ご参考に

Q 通話録音中に使用できない機能、操作は？

- A**
- 会議通話はできません。内線通話の場合は、相手の方が通話録音しているときも会議通話はできません。
 - 通話モニタはできません。
 - メニューボタンを押す操作は無効となります。
 - ダイヤルボタンを押す操作は、「録音内容を他のボックスに送信するには」(●P49、P51)の操作になり、PB信号やキーパッドは送出されません。

Q 「ボックス番号XXはただいま使用中です。」と聞こえたときは？

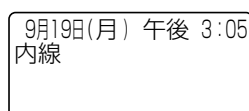
- A**
- 1つのボックスは、同時に複数の電話機から再生することができません（着信通知による再生を含む）。すでに再生中のボックスを再生しようとしたときは、下記のガイダンスが流れますので、少し待ってからやり直してください。
- ◀ ボックス番号XXはただいま使用中です。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください。

お買い求め時の設定に戻すには

登録・設定した内容や、録音された内容を消去して、お買い求め時の設定に戻すことができます。「システム管理者」に設定されている内線電話機からのみ行えます。

1 内線ボタンを押します。

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

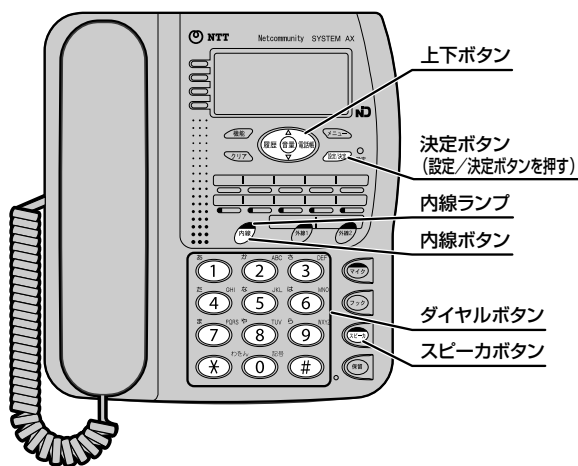
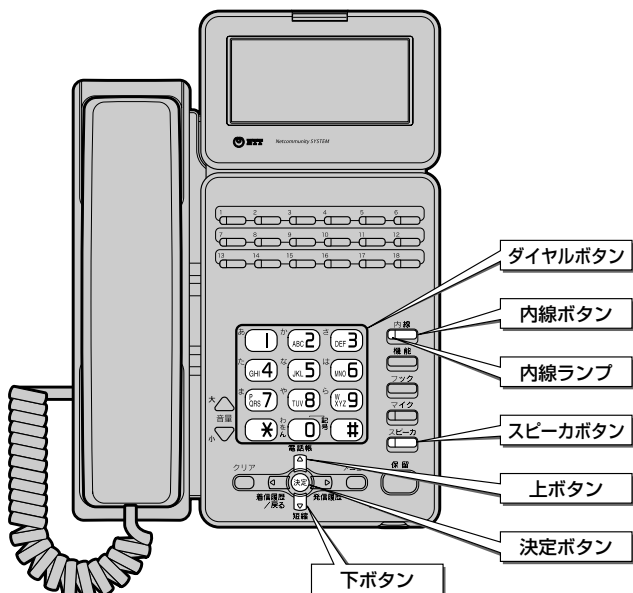
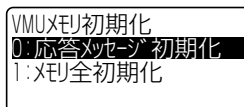


2 決定ボタンを押します。

「ツツツ…」という音を確認してください。



3 音声メール機能初期化の特番 (0) (GH1 4 []) を押します。



1
前に
お使いになる

2
留守番電話と
して利用する

3
メッセージを
再生/送信する

4
お話しを録音
する

5
お待たせメッセー
ジを利用する

6
外出先から
操作する

7
ユーザ設定を
する

8
ご参考に

4 応答メッセージを初期化するとき は **0**、メモリを全初期化するとき は **1** を押します。

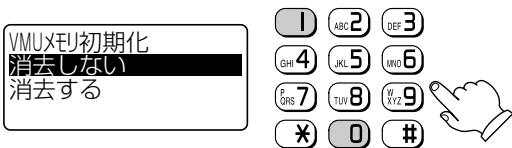
< **0** を選択した場合 >

応答メッセージが消去され、応答メッセージがお買い求め時の設定に戻ります。

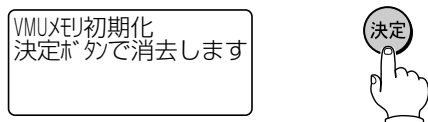
お買い求め時の設定に戻る応答メッセージは (→右記)

< **1** を選択した場合 >

応答メッセージを含むすべての録音内容 (留守番電話、通話録音などの各ボックスの録音内容) が消去され、お買い求め時の設定に戻ります。



5 上下ボタンで「消去する」を選択し、 決定ボタンを押します。

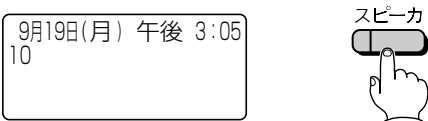


6 決定ボタンを押します。

「ピーピー」という確認音が聞こえ、消去されます。



7 スピーカボタンを押します。



ワンポイント

- お買い求め時の設定に戻る応答メッセージは
手順4で応答メッセージを初期化する選択をしたときは、
下記の応答メッセージが消去され、お買い求め時の設定
の応答メッセージになります。
 - 留守番電話の応答メッセージ
 - システム留守番電話の応答メッセージ
 - FAX/電話切替メッセージ
 - お待たせメッセージ

お知らせ

- 本操作を行っても、「システム設定」はお買い求め時の設定には戻りません。
- 他の電話機で録音・再生中など、音声メールの機能を使用している場合は、本操作を行うことができません。

停電になったときは

留守番電話をセットしているときに停電になると、留守番電話は解除されます。停電が復旧したあと、留守番電話をセットしてください。(●P28) システム留守番電話は、停電になった場合でも解除されません。

停電中に、主装置がバックアップ電池による動作ができなくなったときは、音声メールの機能は使用できません。

停電になった場合でも、音声メールの各種設定内容は、主装置のメモリ保持電池によって保持されています。停電が復旧したときに、設定し直す必要はありません。

また、それまでに録音終了していた内容などは音声メールのメモリ保持電池によって保持されます。

主装置がバックアップ電池による動作中	すべての内線電話機でそのまま録音・再生できますが、できるだけ早く録音・再生を終了させてください。
主装置がバックアップ電池による動作ができなくなったとき	音声メールの機能は使用できません。



お知らせ

- 主装置のバックアップ電池、メモリ保持電池については、ネットコミュニティシステム α GX typeS/typeMの取扱説明書をご参照ください。
- 各種設定内容が停電時に失われるようであれば、当社のサービス取扱所へご相談ください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
音声メールに電話がつかない	主装置の電源が入っていない	主装置の電源スイッチをオンにしてください	—
	主装置の電源コードが抜けている	電源コードを正しく接続してください	—
	停電中	停電が復旧するまで使えません	●P92
	電話回線が混み合っている	しばらく待ってからかけ直してください	—
	音声メールの録音・再生回路に空きがない	しばらく待ってから操作してください	—
留守番電話が録音できない／システム留守番電話が録音できない／メッセージを録音できない	「システム設定」で設定したボックスあたりの最大メッセージ数を超過している	不要なメッセージを消去してください	●P42
	音声メール内のメッセージがいっぱいになっている	不要なメッセージを消去してください 「システム設定」で、自動消去の保存日数を短く設定してください	●P42 ●P43
通話録音ができない	「システム設定」で設定したボックスあたりの最大メッセージ数を超過している	不要なメッセージを消去してください	●P42
	音声メール内のメッセージがいっぱいになっている	不要なメッセージを消去してください 「システム設定」で、自動消去の保存日数を短く設定してください	●P42 ●P43
	音声メールの録音・再生回路に空きがない	しばらく待ってから操作してください	—
	会議回路などに空きがない		—
通話録音中に「ププププ」という音が聞こえる	「システム設定」で設定された最大録音時間を超過した	「システム設定」で最大録音時間を長く設定してください	—
録音されたメッセージを再生できない	「システム設定」で設定された自動消去の保存日数を過ぎている	メッセージは消去されています（故障ではありません） 自動的に消去されないようにするには、メッセージを保護してください	●P39、 P43
	録音終了前に停電になった	録音中に主装置のバックアップ電池による動作ができなくなった場合でも、それまでのメッセージは保持されます 復旧してから、再度録音してください	—
	他の人が同じボックスのメッセージを再生中	しばらく待ってから操作してください	—
	再生しようとしているボックスが着信通知中	しばらく待ってから操作してください	—

1
前に
お使いになる2
して利用する
留守番電話と3
再生／送信する
メッセージを4
する
お話しを録音5
を利用する
お待たせメッセー6
操作する
外出先から7
する
ユーザ設定を8
ご参考に

(次ページにつづく)

故障かな？と思ったら

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
留守番電話をセットしても留守番電話が応答しない／システム留守番電話が応答しない	留守番電話の対象となる回線を設定していない	留守番電話の対象となる回線を設定してください	●P26
	音声メールの録音・再生回路に空きがない 会議回路などに空きがない	故障ではありません 音声メールの録音・再生回路や会議回路などに空きができると、留守番電話／システム留守番電話が応答します	—
お待たせメッセージで応答しない (着信音が変わらない)	お待たせボタンを押したあと、6秒以上たってからランプが点滅している 外線ボタンを押している	お待たせボタンを押したあと、6秒以内にランプが点滅している外線ボタンを押してください	●P58
	音声メールの録音・再生回路に空きがない	しばらく待ってから操作してください	—
外出先から音声メールを操作できない	ダイヤル回線の電話機を使っている	プッシュ信号を送ることができる電話機をご利用ください ダイヤル回線に接続されている電話機でもプッシュ信号を送る機能があれば音声メールを利用することができます	—
プッシュホンサービスが使えない	通話録音中にダイヤルボタンの操作を行った	ダイヤルボタンを押してPB信号を送るプッシュホンサービスは、通話録音中には利用できません 録音終了後に操作を行ってください	●P89
ボックスにアクセスできない	暗証番号をダイヤルしていない	暗証番号を確認してダイヤルしてください (暗証番号を忘れるとアクセスできません。別にメモをとるなどして忘れないようにしてください)	—
「ブツブツ」と小さな音がする	お待たせメッセージをご利用時、着信音を鳴動しない設定にしている場合に「ブツブツ」と小さな音がすることがある	故障ではありませんが、気になる場合は音量を小さくするか、着信音が鳴るように設定してください	—

お客様データ一覧

■ボックス設定表

ボックスの設定内容を記入して活用してください。
このページはコピーしてご利用ください。

No	ボックス番号	所属部署	氏 名	ボックス種別		所属同報グループ		
				内線	フリー			

1
前に
お使いになる

2
として
留番
電話
と
利用
する

3
再生/
メ
ッ
セ
ー
ジ
を
送
信
す
る

4
する
お
話
し
を
録
音

5
を利用
お
待
た
せ
メ
ッ
セ
ー
ジ
を
利
用
す
る

6
操作
外
出
先
か
ら
す
る

7
する
ユ
ー
ザ
設
定
を
す
る

8
ご参考
に

■同報グループ設定表

同報グループの設定内容を記入して活用してください。同報メールを送信するときに使用します。
このページはコピーしてご利用ください。

No	グループ番号	所属グループ名	備考
1			
2			
3			
4			
5			
6			

音声メール操作サービスボタンの設定を変更するには

設定済みの音声メール操作サービスボタンの設定を変更することができます。

■ サービスボタンの設定を変更する

- ① ハンドセットを置いたまま、メニューボタンを押す
- ② **1** **5** **2** を押す
- ③ 設定を変更するサービスボタンを押す
- ④ 上下ボタンを押して設定する機能を選択し、決定ボタンを押す
続けて登録するときは、手順③、④を繰り返します。
- ⑤ 戻るボタンを長く（AX電話機では履歴ボタンを繰り返し）押す

選択できる機能	本書でのサービスボタンの表記
留守番電話ボタン	留守
お待たせボタン	お待たせ
VM通話録音モード切替	録音モード
VM手動録音	録音
VM終了	終了
VMポーズ	ポーズ
VMコメント	コメント
VM録音取消	録音取消
VM呼出取消	呼出取消

1
前に
お使いになる

2
して利用する
留守番電話と

3
再生/送信する
メッセージを

4
する
お話しを録音

5
を利用する
お待たせメッセー

6
操作する
外出先から

7
する
ユーザ設定を

8
ご参考に

アルファベット

αGX標準電話機	14
AX標準電話機	14
FAX/電話切替メッセージ	76
GX-TEL-<1>	17

五十音

【ア行】

暗証番号	20
居留守応答	30
応答専用	22、36
応答専用を設定する	82、83
応答メッセージ	22、36
FAX/電話切替メッセージを設定する	76
お待たせメッセージを設定する	74
システム留守番電話の 応答メッセージを設定する	78
留守番電話の応答メッセージを設定する	72
お客様データ一覧	95
お待たせボタン	14、15
お待たせメッセージ	56
応答する	58
設定する	74
お待たせランプ	16
音声メール操作用サービスボタン	14、15
設定を変更する	97
音声メール操作用ボタン	14、15、17

【カ行】

外出先からの操作	60
外出先から電話をかけて別の外線に 発信する	66
内線電話機を直接呼び出す	64
リモート設定一覧	69
リモート設定を行う	68
録音内容を再生する	62
外線発信	66
外線ランプ	16
機能番号	70

休憩モード	36
休日モード	36
決定ボタン	17
検索/変換ボタン	17
故障	
故障かな?と思ったら	93
故障の場合	101
コメントボタン	14、15
コンソール	15

【サ行】

再生	38、40
再生する順序を設定する	86
再生中にできる操作	39
新規メッセージを優先する/ しないを設定する	87
システムモード	36
システム留守番電話	36
システム留守メッセージ設定	78
自動お待たせメッセージ	57
自動通話録音	48
終了ボタン	14、15
受信通知	38
手動お待たせメッセージ	56
手動通話録音	50
仕様	100
消去	42
初期化	90
新規メッセージ優先設定 設定	87
お買い求め時の設定に戻す	90
ユーザ設定	70
設定ボタン	17
セレクトボタン	17
全消去	43

【タ行】

ダイヤリングサービス	61
ダイヤルイン	64
着信通知	32
着信通知を設定する	35
通知先の電話番号を登録する	34

通話録音	
再生する	38、40
自動/手動を切り替える	52
自動で通話を録音する	48
手動で通話を録音する	50
録音内容にコメントを付けて送信する	54
録音を一時停止する	48、51、55
録音を終了する	49、51、55
停電になったとき	92
転送	44
同報グループ	18
同報ボックス	18
同報メール	47
特長	12
特番	70
【ナ行】	
内線ボックス	18
内線呼出	64
【ハ行】	
昼モード	36
フリーボックス	18
ポーズボタン	14、15
保守サービス	101
ボックス（再生）ボタン	14、15
ボックス（再生）ランプ	16
ボックスの種類	18
【マ行】	
メッセージ	
再生する	38
再生する順序を設定する	86
再生する対象を設定する	87
再生中にできる操作	39
消去する	42
全消去する	43
他の人にメッセージを送信する	46
転送する	44
複数の相手に同じメッセージを送信する	47
ボックス番号を指定して再生する	40
メッセージ再生順設定	86

メニュー設定	70
--------	----

【ヤ行】

ユーザ設定	70
呼出取消ボタン	14、15
夜モード	36

【ラ行】

ランプ表示	16
リモート設定	68
リモート設定一覧	69
留守/転送開始タイマ	80
留守番電話	22、24
相手確かめてから電話に出る	30
応答時間を設定する	80
応答メッセージを設定する	72
システムモードに応じて自動的に	
システム留守番電話を利用する	36
セット/解除する	28
電話をかけてきた相手の声を	
スピーカで聞く	31
メッセージが録音されたことを	
携帯電話などに通知する	32、34、35
留守番電話の対象となる回線を	
設定する	26
留守ボタン	14、15
留守ランプ	16
録音	

FAX/電話切替メッセージを録音する	76
お話しを録音する	48、50
お待たせメッセージを録音する	74
システム留守番電話の応答メッセージを	
録音する	78
他の人にメッセージを送信する	46
留守番電話の応答メッセージを	
録音する	72

録音取消ボタン	14、15
録音ボタン	14、15
録音モードボタン	14、15
録音モードランプ	16
録音用	22、36
録音ランプ	16

1
前に
お使いになる

2
として利用する
留守番電話と

3
再生/送信する
メッセージを

4
する
お話しを録音

5
を利用する
お待たせメッセー

6
操作する
外出先から

7
する
ユーザ設定を

8
を参考に

録音・再生回路数	最大4回路
音声記録媒体	フラッシュメモリ
音声蓄積時間	初期：4時間 メモリ増設時：12時間
ボックス数	内線ボックス：最大30（ネットコミュニティシステム αGX typeMに接続の場合） 最大10（ネットコミュニティシステム αGX typeSに接続の場合） フリーボックス：最大20 同報ボックス：最大6
1メッセージ当たりの録音時間	10秒～30分（初期値：3分）
最大録音件数	2000件

保守サービスのご案内

1
前に
お使いになる

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので「保証書」は大切に保管してください。

（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無償で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおかがいするための費用が不要となります。

2
して利用する
留守番電話と3
再生／送信する
メッセージを4
する
お話しを録音

●故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

●お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

●その他

定額保守サービス料金については、NTT通信機器お取扱相談センターへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センター

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：☎ 0120-970413

携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間 9：00～21：00

年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：☎ 0120-109217
トークニーナ

携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
東海・北陸・近畿・中国・四国地区
06-6341-5411（通話料金がかかります）
九州地区
092-720-4862（通話料金がかかります）

受付時間 9：00～21：00

年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。

5
を利用する
お待たせメッセー6
操作する
外出先から7
する
ユーザ設定を8
ご参考に

●補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

921811A5

MEMO



環境基準ラベル 「ダイナミックエコマーク」について

弊社は、循環型社会構築に向けた環境にやさしい通信機器の提供を推進するために、環境ガイドライン「<追補版>通信機器グリーン調達のためのガイドライン」を設定しております。さらに、より厳しい環境基準を満足した製品をダイナミックエコマーク認定製品と位置づけます。

ダイナミックエコマークは下記条件を満足した製品に適用します。

ダイナミックエコマーク認定基準

<環境に配慮した素材の採用>

- 弊社が指定する含有禁止物質について製品には使用しません。
- 弊社が指定する含有抑制物質については、使用を抑制するとともに物質名・量を管理します。
- 酸性雨で地中に溶け出して人体に影響がある鉛を、製品へ使用することを抑制しています。
- 焼却時にダイオキシン発生のある恐れがあるPVC（ポリ塩化ビニル）、非デカブロ系難燃剤以外のハロゲン系難燃剤の製品への使用を抑制します。
- 廃棄やリサイクルのために、製品には推奨プラスチック材料（ポリスチレン等）、推奨金属材料を使用します。
- 取扱説明書等に使用する紙は再生紙を使用し、使用する印刷インキは、オゾン層破壊物質等の含有禁止物質を含まないものを使用します。

<リサイクルしやすい設計>

- 製品のリサイクル可能率を70%以上とします。
- リサイクルを容易にするため、全てのプラスチック製部品に材料名を表示し、リサイクルに支障のない方法で製品名を表示します。

<環境に配慮した梱包材>

- 発泡スチロールの使用量を削減します。

<省エネルギー>

- 省エネルギーを考慮した設計を行います。
- 国際エネルギースタープログラム対象製品は、これに準じた設計を行います。



本商品はダイナミックエコマーク認定製品です。



この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。環境を考えて大豆インクを使用しています

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ： <http://www.ntt-east.co.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： ☎ 0120-970413

携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間 9：00～21：00

年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： ☎ 0120-109217

トークニーナ
携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
東海・北陸・近畿・中国・四国地区
06-6341-5411（通話料金がかかります）
九州地区
092-720-4862（通話料金がかかります）

受付時間 9：00～21：00

年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。



©2007 NTEAST・NTTWEST

本 2679-4 (2007.5)
GXSM-VMUトリセツ<1>